

茅ヶ崎市生活支援体制整備事業

—「外出」に関するアンケート調査結果—
確報 <地区版>



令和元年(2019年)11月
発行・編集 茅ヶ崎市福祉部高齢福祉介護課
社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会



外出に関するアンケート調査の概要

市民の日常生活に必要な「外出・移動」に関する困りごとの概要把握のため、外出に関するアンケート調査を実施しました。

実施期間

:平成31年1月24日(木)～2月20日(水)

調査対象と方法

- :平成30年12月時点で、要支援認定を受けている方から1,300名(13地区×100名)を層化無作為抽出。
- :調査票は郵送し、返信用封筒での返送により回収。

外出に関するアンケート調査の概要

回答数

: 815 人

茅ヶ崎	茅ヶ崎南	南湖	海岸	鶴嶺東	鶴嶺西	湘南
64	59	61	66	61	62	59

松林	湘北	小和田	松浪	浜須賀	小出
58	62	63	74	62	64

調査結果の速報版は、「茅ヶ崎市生活支援体制整備事業報告会(平成31年3月28日開催)」にて、配布・説明をおこないました。

確報〈地区版〉について

今回、調査結果の確報の発行と合わせて、地区別で結果を見ることができるよう〈地区版〉を作成しました。

分析・考察は、茅ヶ崎市社会福祉協議会の第2層地域支え合い推進員(地区担当職員)が、各地区の地域包括支援センターのご協力を得て担当しました。

この〈地区版〉は、

- ◆市全域の傾向だけでは見えにくい、地区ならではの困りごとの傾向を掴む一つの視点として
- ◆どのような支援が求められるかの話し合いなど、各地区での取り組みを考えるためのヒントとして

ご活用いただけると良いと考えています。

確報〈地区版〉の活用にあたって

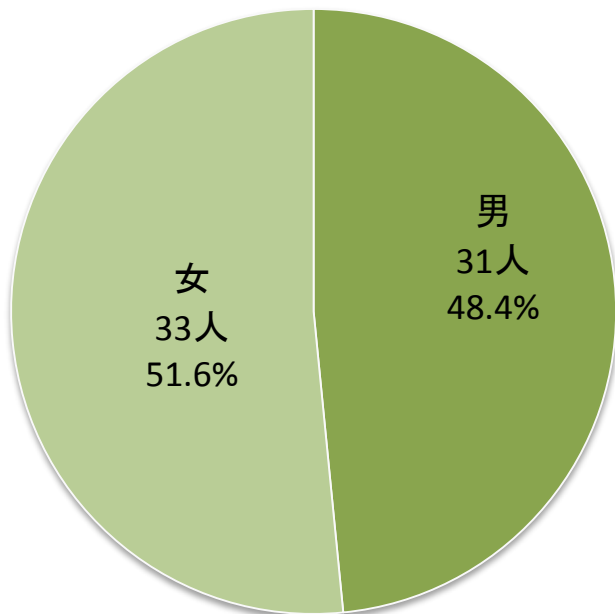
- * 〈地区版〉は、別冊の確報とあわせてご活用ください。
- * 基本項目 （調査票 問2～4より）
 - 介護認定関連項目 （調査票 問5～7より）
 - 外出関連項目 （調査票 問8、13より）
- 特に大変と感じる外出について（調査票 問10～12より）の個別の結果については、数字から読み取れる事柄を主に示しています。
- * ≪市全域との比較≫については、確報（市域版）に記載している数との比較で示しています。
- * ≪全体考察≫については、調査が「外出・移動」に関する内容であることから、各地区の地理的・環境的な要素等も踏まえた考察を示しています。

茅ヶ崎地区

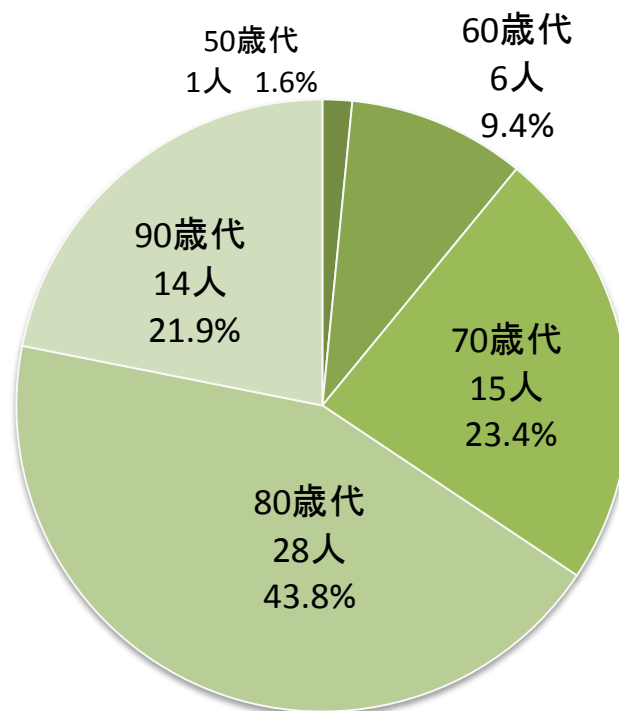
【回答数：64人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



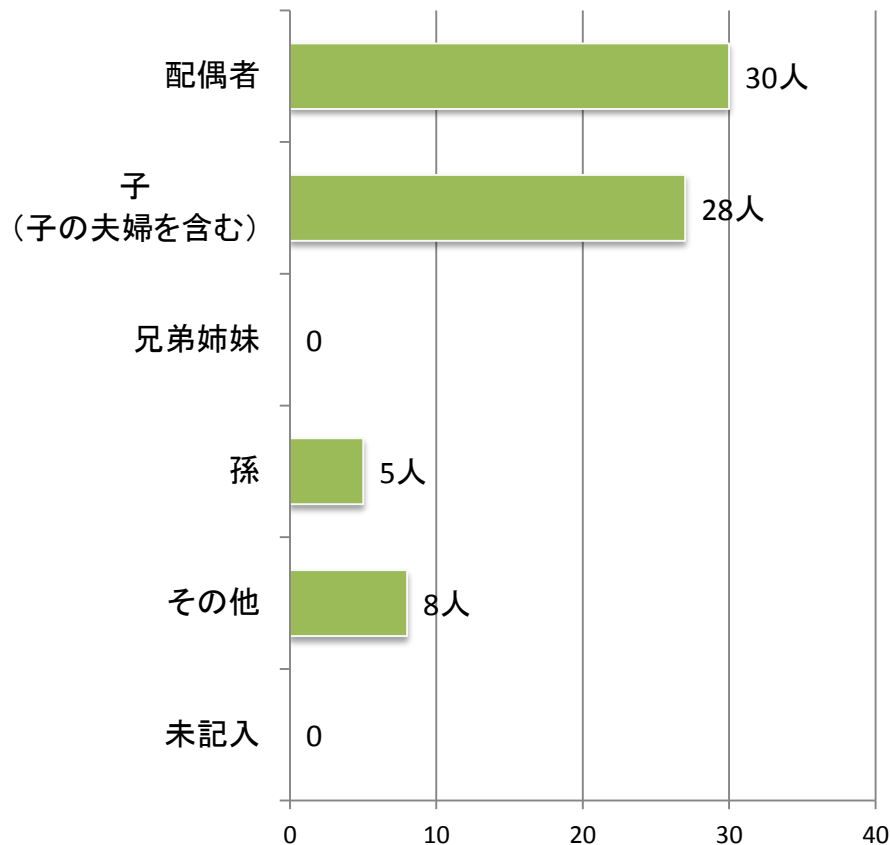
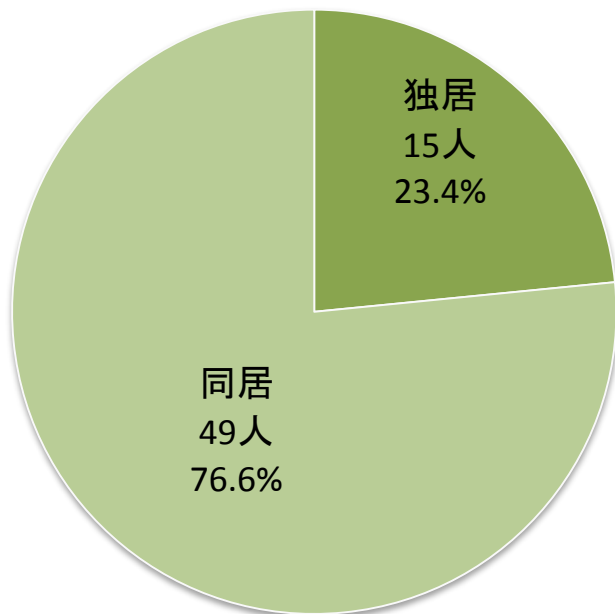
問3 あなたの年齢はおいくつですか



茅ヶ崎地区

～基本項目～

問4 同居している家族についておたずねします



どなたと同居していますか？

(複数回答)

茅ヶ崎地区

《基本項目 問2～問4 について 市全域との比較》

- 「性別」、「誰と同居か」については、市全域と差が少ない。(問2・問4)
- 同居しているかについては、同居の割合が大きい。(問4)
- 年齢は、80代、90代が多い。(問3)

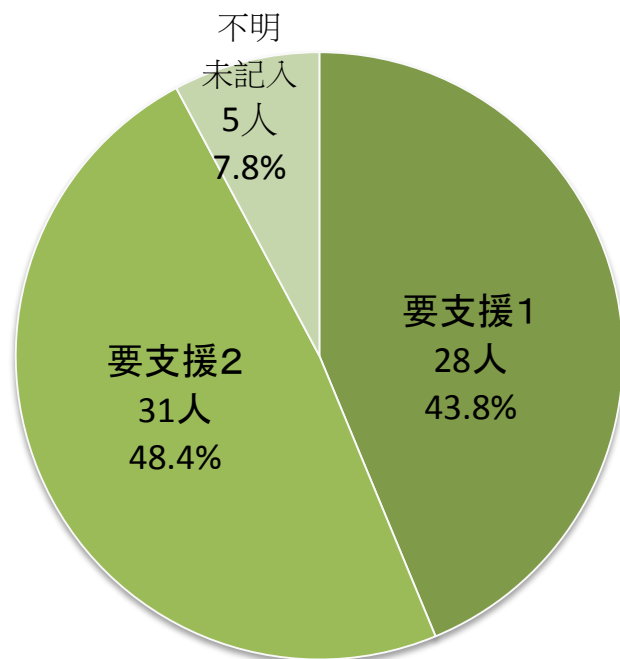
《考察》

- マンションが多い地域で、新築のマンションには若い世代の居住者が多い。高齢化率や世帯構成は市内平均である。
- 住民の声では、地区によっては同敷地内に家を建て子どもと近くに住む等見られるが、茅ヶ崎地区は土地がないために子どもが帰ってこない傾向が高いよう。家の取り壊しも最近多いが建替えではなく、売ってしまい別の人に住むケースが増えているという(茅ヶ崎コミセン前、梅田中学校前の土地等)。ただし、本村の方は土地があり、地区内でばらつきはある。「土地に愛着がないのだろうか」という住民からの声もある。
- 一方で、福祉相談室の見解としては、一度市外へ出た子どもが高齢となり、戻ってきたケースの相談件数が多いため、子との同居が多いと考えている。いわゆる「8050問題」と謳われる世帯が増えてきていることが想定される。

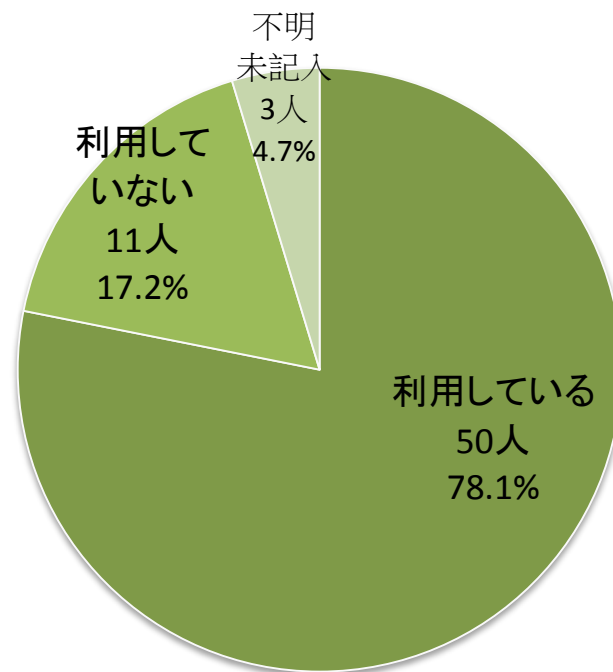
茅ヶ崎地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



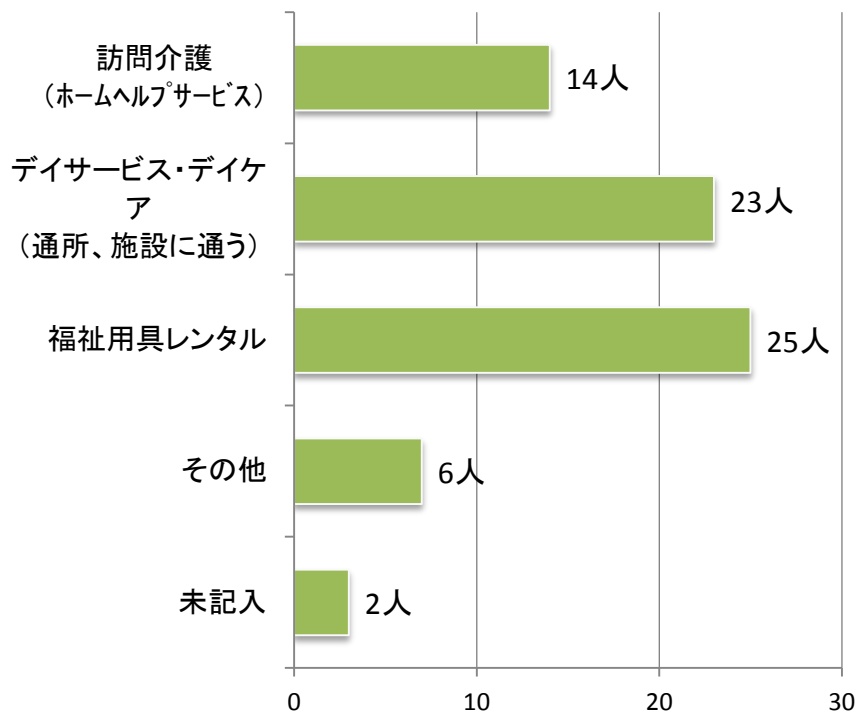
問6 現在介護保険のサービスを
利用していますか



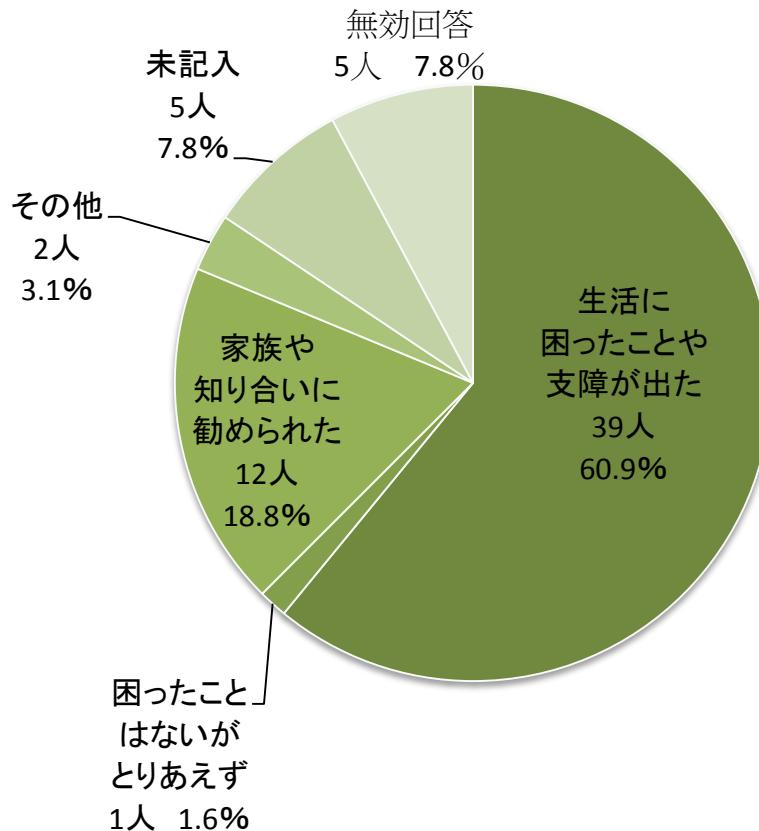
茅ヶ崎地区

～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を
教えてください



茅ヶ崎地区

《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

- 介護認定は要支援1の割合が市より小さく、要支援2の差は少ない。（問5）
- 介護保険サービスは、「利用している」人が多い。（問6）
- 利用しているサービスは「デイサービス・デイケア」より「福祉用具レンタル」の割合が大きい。（問6-2）
- 介護保険申請の理由は「生活するのに困ったことや支障が出たため」が多く、「困ったことはないがとりあえず」が少ない。（問7）

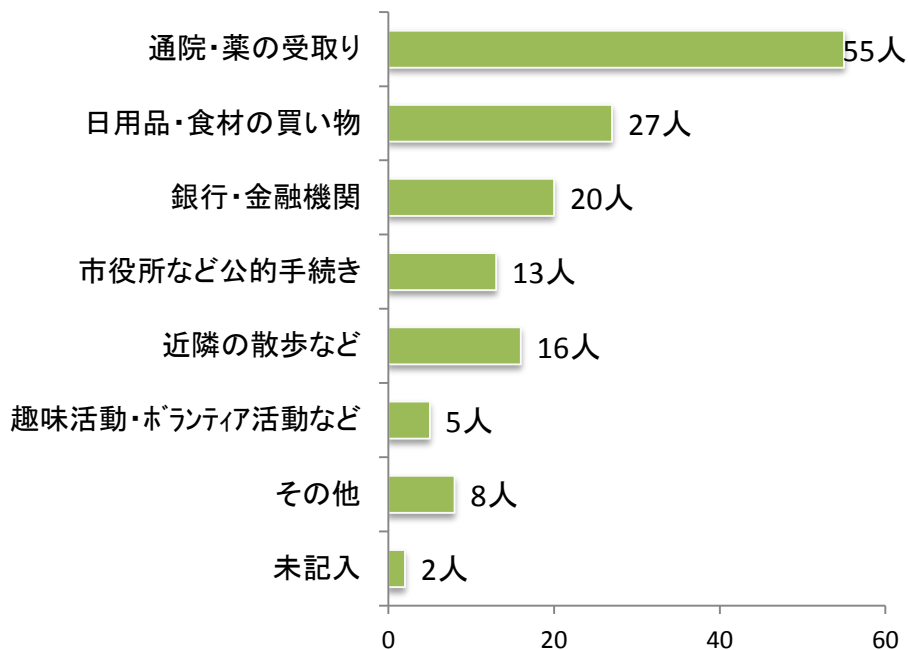
《考察》

- 生活するのに困ったことや支障が出てきてサービスを利用するという割合が、市全体の統計と比べて大きい。

茅ヶ崎地区

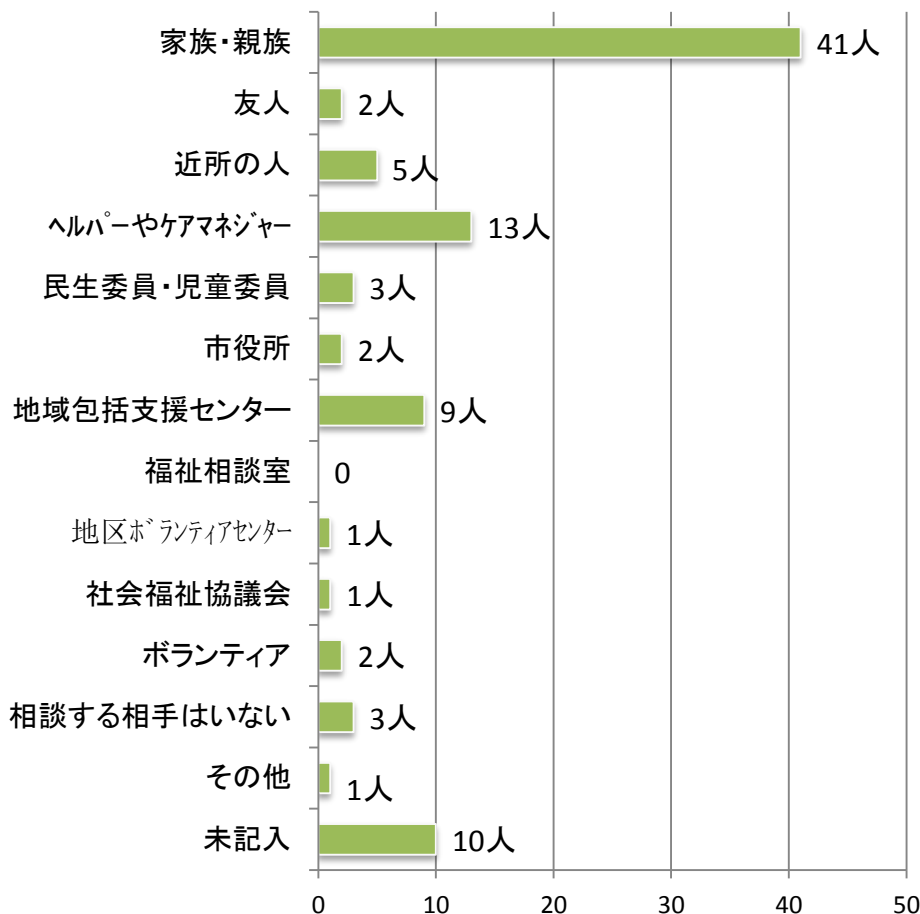
～外出関連～

問8 普段良く出かけるところを教えてください
(複数回答)



※その他： パーマ屋、職場、会社
歩けない等

問13 外出について困ったことがある時など
誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



茅ヶ崎地区

《外出関連 問8～問13 について 市全域との比較》

- 普段良く出かける場所は、「通院・薬の受け取り」が多い。(問8)
- 外出について困ったことがある時、誰に相談するかは、差が少ない。(問13)

《考察》

- 茅ヶ崎地区には市役所、地域包括支援センター、社会福祉協議会など徒歩圏内に相談窓口があるが、「家族・親族」、「近所の人」への相談が多いのは、どこに相談したら良いのか分からない場合があると考えられる。身近な相談窓口周知に努めるべく、地域包括支援センター・福祉相談室との連携をより強固なものにしていく必要がある。

茅ヶ崎地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計34)	1 週に4回以上	2
	2 週に2～3回	1
	3 週に1回	7
	4 月に1～2回	17
	5 その他	5
	未記入	2
	無効回答	0
②主な時間帯 (計34)	1 早朝（8時以前）	2
	2 午前中	27
	3 午後	2
	4 夕方（17時以降）	0
	未記入	3
	無効回答	0
	③交通手段 (計51)	1 徒歩
2 自転車		3
3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)		5
4 施設・店舗の無料バス		3
5 自分で運転する車		2
6 家族等が運転する車		14
7 タクシー		15
8 福祉タクシー		1
9 その他		1
未記入		1

④大変な理由 (計64)	1 距離が遠い	9
	2 交通が不便	2
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	23
	4 交通費が負担	3
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	5
	6 一人では行かれないので 付添が必要	17
	7 その他	4
④で6を選んだ 人 (計17)	未記入	1
	1 家族	13
	2 友人	0
	3 近所の人	1
	4 ヘルパー	0
	5 その他	3
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人

茅ヶ崎地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

＜＜考察＞＞

- 回答数 64人中で見ると、34人(全体の52%)が困っている。
- 駅前に主要な機関や施設が集中しているため、相対的に「通院・薬の受け取り」が一番大変と感じる結果となった面もあると考えられる。薬は『なくなったら貰いに行かなければならない』との義務感からも、大変と捉える傾向が強くなることもあるだろう。
- 例えば、市立病院は院外処方なので先の薬局まで歩かなければならず、待ち時間も長くなれば疲弊してしまうことも考えられ、薬は後日家族が取りに行く等の対応をしているケースもあるようだ。
- 「通院・薬の受け取り」が一番大変と感じる人が多いことは、居宅療養管理指導のサービスを知らない人が多いことが想定される。
- 交通手段に「家族等が運転する車」、「タクシー」を選択している人が特に多い。地区内には市立病院、茅ヶ崎中央病院などの総合病院や多数のクリニックがあり、市立病院行きのバス・コミバスも存在するが、「バス」や「徒歩」の回答数は少ない。車の利用は、市外の医療機関を利用する人もいることが考えられる。

茅ヶ崎地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計25)	1 週に4回以上	4
	2 週に2～3回	5
	3 週に1回	6
	4 月に1～2回	5
	5 その他	4
	未記入	1
	無効回答	0
	②主な時間帯 (計25)	1 早朝(8時以前)
2 午前中		15
3 午後		6
4 夕方(17時以降)		0
未記入		3
無効回答		1
③交通手段 (計39)		1 徒歩
	2 自転車	3
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	4
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	0
	6 家族等が運転する車	9
	7 タクシー	9
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	2
	未記入	1

④大変な理由 (計46)	1 距離が遠い	7
	2 交通が不便	1
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	17
	4 交通費が負担	3
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	3
	6 一人では行かれないので 付添が必要	10
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計10)	未記入	3
	1 家族	9
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	1
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに日用品食材等の買い物と回答した人

茅ヶ崎地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

＜＜考察＞＞

- 回答数 64人中で見ると、25人(全体の39%)が困っている。
- 他の外出目的に比べて、「徒歩」を主な交通手段とする人が多いことから、徒歩圏内にスーパーやコンビニが存在することが推察される。
- 「体がきつい」、「一人では行かれないので付添が必要」と感じる人が多いという結果から、一度に多くの買い物をし、荷物を持つ負担があるのではないかということや、マンション住まいの高齢者も多いため、エレベーターや階段、ドアの開け締めで苦労があるかもしれないといったことも考えられる。
- 「徒歩」で出る人が多いことを考えると、茅ヶ崎駅前を含むこのエリアは自転車や車の走行も多く、高齢者にとっては慌てたり、危険を感じることもあると思われる。人が集中するエリアでは道を譲る、交通ルールを守るなどハード面以外での整備が求められるのではないだろうか。

茅ヶ崎地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計23)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	0
	3 週に1回	7
	4 月に1～2回	10
	5 その他	4
	未記入	2
	無効回答	0
②主な時間帯 (計23)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	18
	3 午後	2
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	3
	無効回答	0
③交通手段 (計33)	1 徒歩	6
	2 自転車	4
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	4
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	2
	6 家族等が運転する車	3
	7 タクシー	7
	8 福祉タクシー	1
	9 その他	2
	未記入	3

④大変な理由 (計40)	1 距離が遠い	7
	2 交通が不便	0
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	14
	4 交通費が負担	4
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	3
	6 一人では行かないので 付添が必要	6
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計6)	未記入	4
	1 家族	4
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	2
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と
回答した人

茅ヶ崎地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

＜＜考察＞＞

- 回答数64人中で見ると、23人(全体の36%)が困っている。
- 茅ヶ崎地区は他地区と比較して、駅に近いため、金融機関への交通手段で不便を感じることは少ないと思われる。
- 付添として「家族」を挙げる人も多いが、他項目に比べ「その他」の選択が目立つ。
外出手段というよりも、手続きの方法や案内板が見えない、聞こえない等の不安を抱えている人が多いのではないかと予想される。
- 銀行・金融機関へは「家族が運転する車」、「家族」の付添を選択する人が少ない。
本人が行かなければならないこと多く、家族には頼みづらいことが想定される。

茅ヶ崎地区

《全体考察》

- 地区傾向としては、全体的にバス等の車利用が多い。
茅ヶ崎駅前の地区であり、どこへ行くのにも徒歩圏内であると考えがちだが、地区が東西に長く広がっている。茅ヶ崎駅から遠い住居については、車・公共交通機関を利用しないと十分な距離だと想定される。
- 公共交通機関については、コミュニティバスは病院行きのみ、バス停は国道1号線沿いに出ないとならないので使いづらいとの意見が出ている。その為、多少高くとも、1メートル料金で行きたい場所へ行けるタクシーは地区住民にとって、便利な交通手段であると考えられる。
- マンションが多い地区であり、築年数が古いマンションに住む人が高齢化している。古いマンションは階段のみであったり、エレベーターは隔階にしか止まらないなどのため、家から出ることを億劫に感じる人がいると想定される。
- 平成29年4月から、茅ヶ崎駅の南側5自治会が茅ヶ崎南地区として分離した。地域包括支援センターが管轄する地区割がよりコンパクトになる。自治会や民生委員・児童委員の数は多いが、地区社会福祉協議会との連携も出来ていると思われる。

茅ヶ崎地区

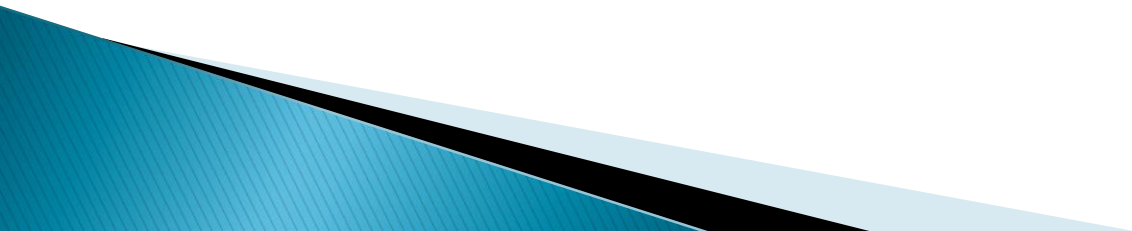
《全体考察》

- 地区傾向としては、全体的にバス等の車利用が多い。
茅ヶ崎駅前の地区であり、どこへ行くのにも徒歩圏内であると考えがちだが、地区が東西に長く広がっている。茅ヶ崎駅から遠い住居については、車・公共交通機関を利用しないと十分な距離だと想定される。
- 公共交通機関については、コミュニティバスは病院行きのみ、バス停は国道1号線沿いに出ないとならないので使いづらいとの意見が出ている。その為、多少高くとも、1メートル料金で行きたい場所へ行けるタクシーは地区住民にとって、便利な交通手段であると考えられる。
- マンションが多い地区であり、築年数が古いマンションに住む人が高齢化している。古いマンションは階段のみであったり、エレベーターは隔階にしか止まらないなどのため、家から出ることを億劫に感じる人がいると想定される。
- 平成29年4月から、茅ヶ崎駅の南側5自治会が茅ヶ崎南地区として分離した。地域包括支援センターが管轄する地区割がよりコンパクトになる。自治会や民生委員・児童委員の数は多いが、地区社会福祉協議会との連携も出来ていると思われる。

茅ヶ崎地区

《全体考察》

- 地区傾向としては、全体的にバス等の車利用が多い。
茅ヶ崎駅前の地区であり、どこへ行くのにも徒歩圏内であると考えがちだが、地区が東西に長く広がっている。茅ヶ崎駅から遠い住居については、車・公共交通機関を利用しないと十分な距離だと想定される。
- 公共交通機関については、コミュニティバスは病院行きのみ、バス停は国道1号線沿いに出ないとならないので使いづらいとの意見が出ている。その為、多少高くとも、1メートル料金で行きたい場所へ行けるタクシーは地区住民にとって、便利な交通手段であると考えられる。
- マンションが多い地区であり、築年数が古いマンションに住む人が高齢化している。古いマンションは階段のみであったり、エレベーターは隔階にしか止まらないなどのため、家から出ることを億劫に感じる人がいると想定される。
- 平成29年4月から、茅ヶ崎駅の南側5自治会が茅ヶ崎南地区として分離し、令和元年10月からは地域包括支援センターが管轄する地区割がよりコンパクトになった。自治会や民生委員・児童委員の数は多いが、地区社会福祉協議会との連携も出来ていると思われる。

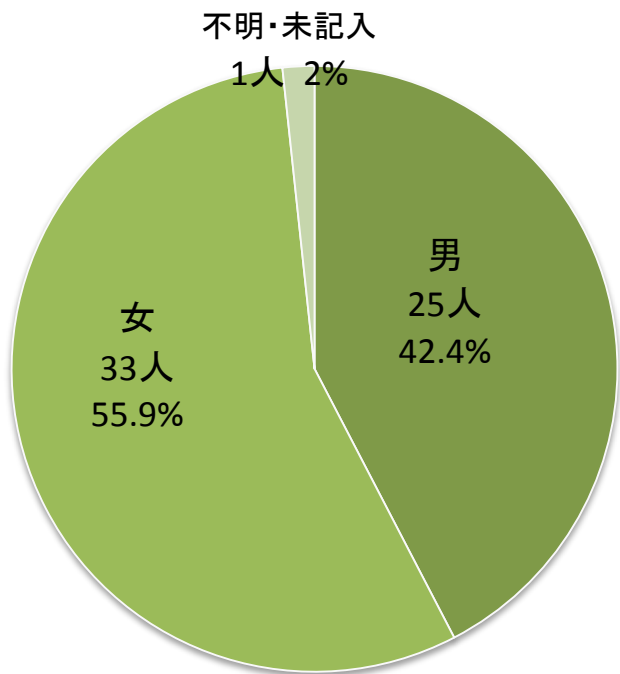


茅ヶ崎南地区

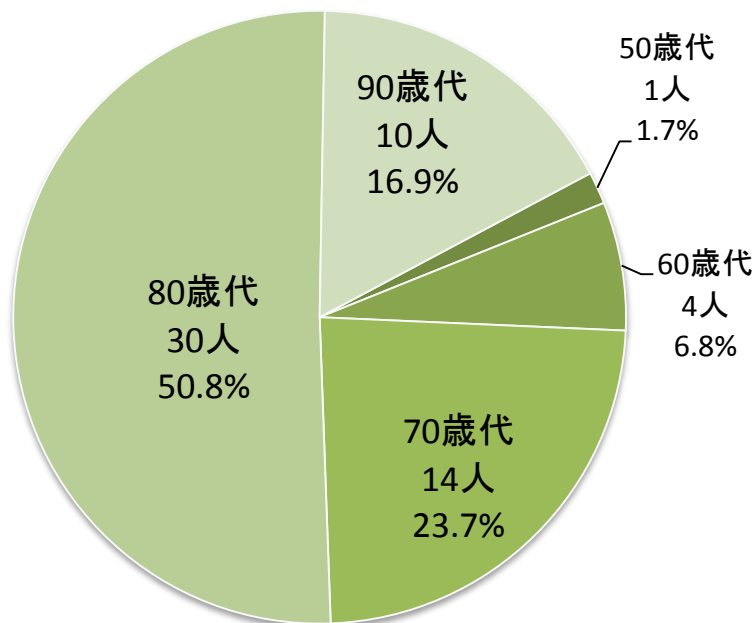
【回答数：59人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



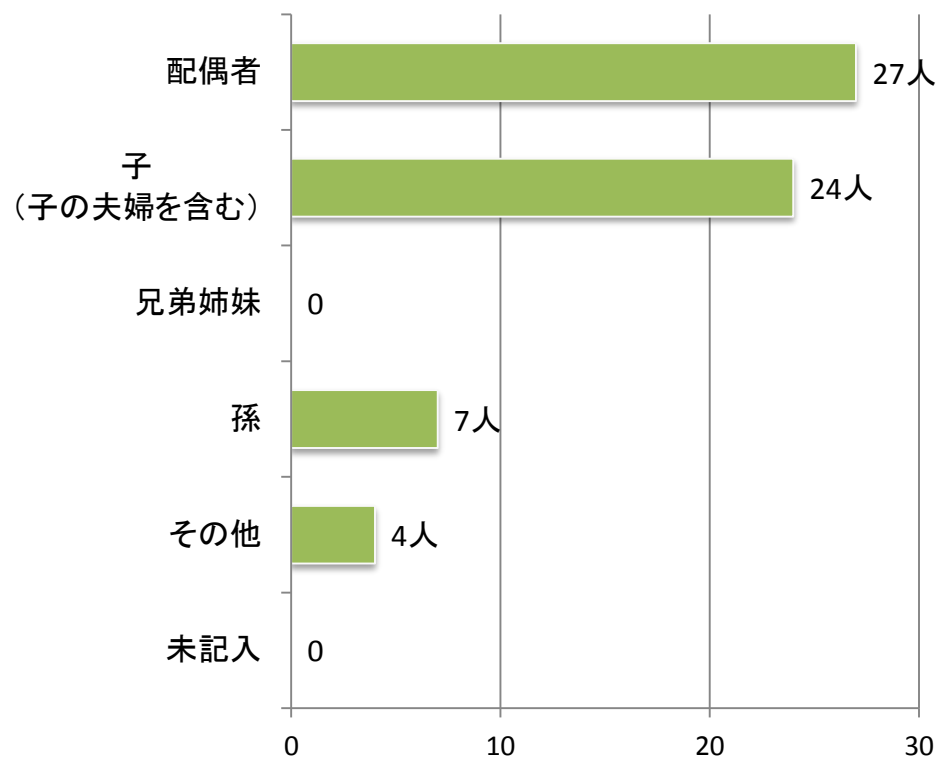
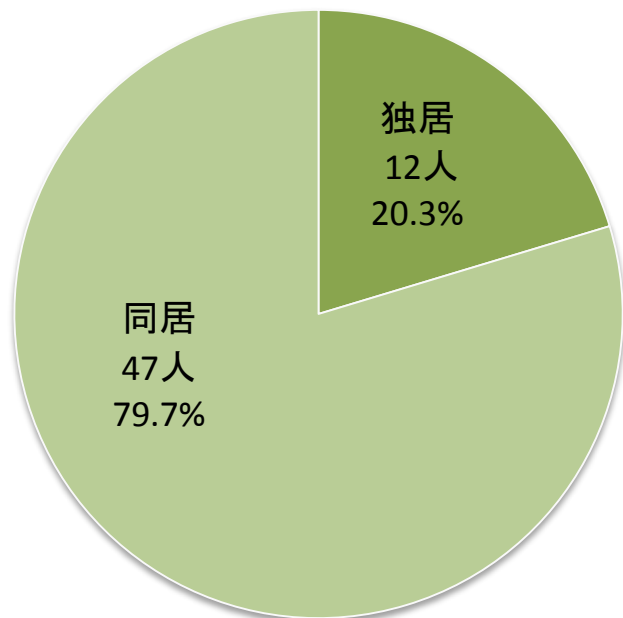
問3 あなたの年齢はおいくつですか



茅ヶ崎南地区

～基本項目～

問4 同居している家族についておたずねします



どなたと同居していますか？

(複数回答)

茅ヶ崎南地区

《基本項目 問2～問4について 市全域との比較》

- 性別・年齢共に市全域の平均値と概ね同様の結果となっている。(問2・問3)
- 同居しているかについては、「同居」との回答が79.7%と、市全域の72.6%に比べ、
7%高い。(問4)
- 同居している人の比率は小出地区に次いで市内で2番目に高い。(問4)

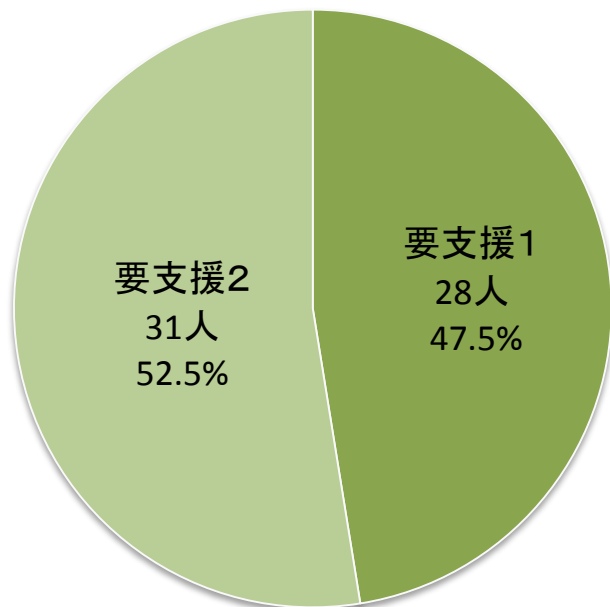
《考察》

同居している人の比率が他地区に比べて高く、その内訳は、市全域と比べても配偶者が多い。高齢者世帯(高齢者人数が多い世帯)の比率が高いことがうかがえる。

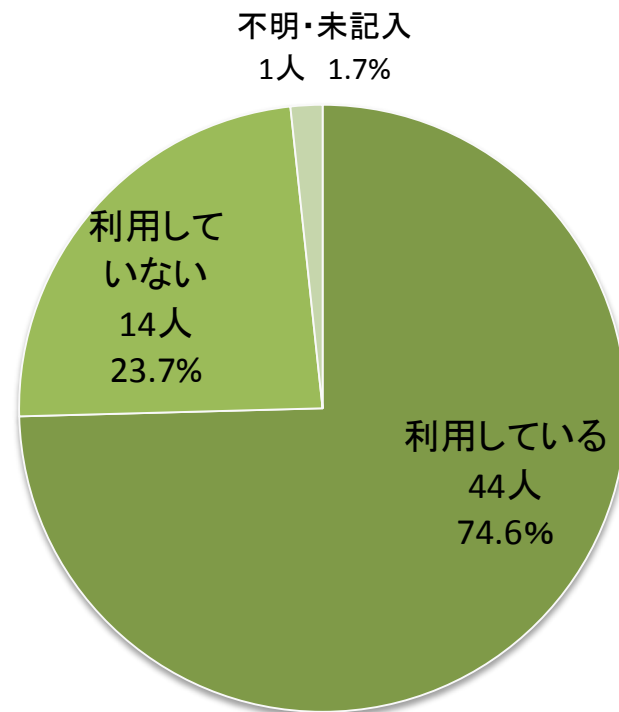
茅ヶ崎南地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



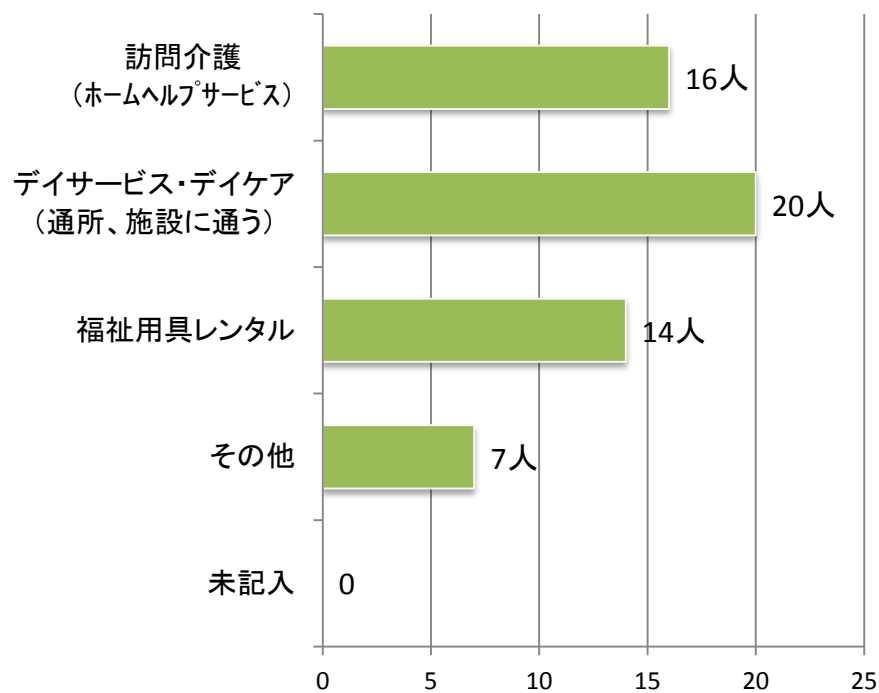
問6 現在介護保険のサービスを利用していますか



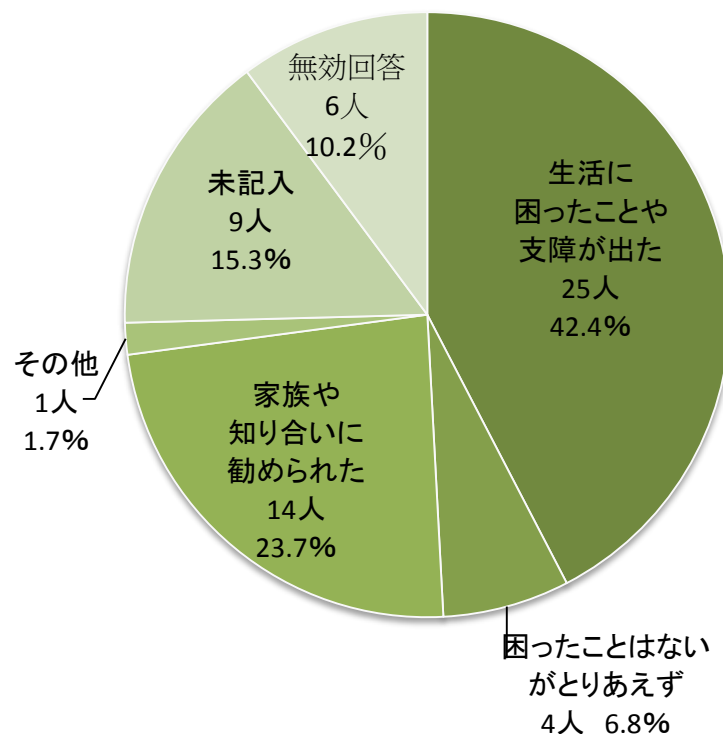
茅ヶ崎南地区

～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を
教えてください



茅ヶ崎南地区

《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

- 要支援2の認定を受けている人が、市全域に比べ6%多い。(問5)
- 但しサービスを利用している人の比率は市全域とあまり変わらない。(問6)
- 「訪問介護」を利用している人の比率が市全域より高い。(問6-2)
- 介護保険申請の理由は、市全域に比べて「家族や知り合いに勧められた」の比率が高い。(問7)

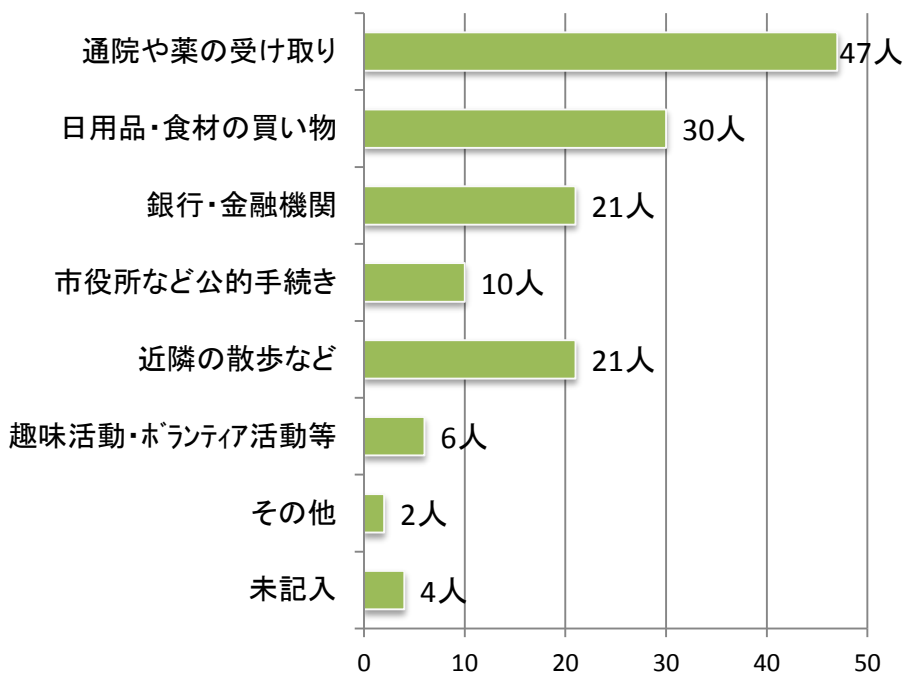
《考察》

- 介護保険申請を他者から勧められる程度の動作能力の低下があってから申請を行うケースが多いことがうかがえ、傾向として、人の手を極力借りたくない、もしくは近い親族の協力を頼って生活を送りたい、という風に考えている人が多いと考えられる。
- 「訪問介護」を利用している方が少ないのは、同居家族がいる世帯が多い事が影響しているものと思われる。

茅ヶ崎南地区

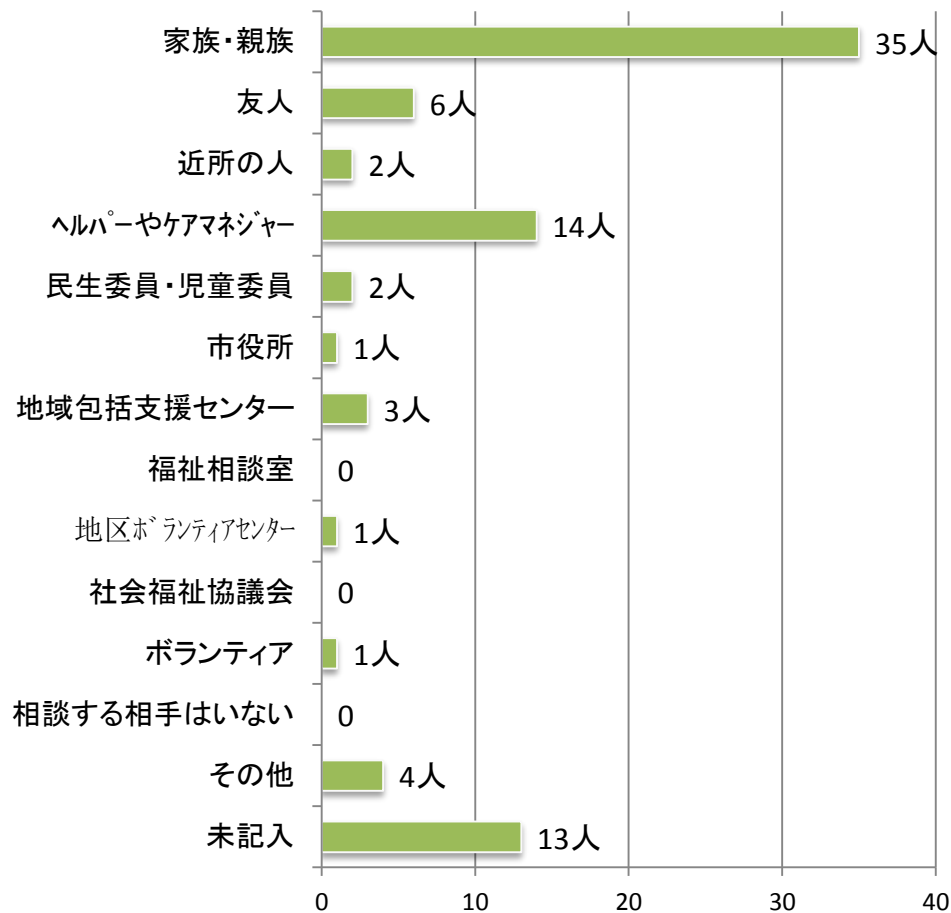
～外出関連～

問8 普段よく出かけるところを教えてください
(複数回答)



※その他： お寺、図書館

問13 外出について困ったことがある時など
誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



茅ヶ崎南地区

《外出関連 問8・問13 について 市全域との比較》

- 普段よく出かけるところの傾向は、他地区とほぼ同様で、市全域の数値と1～2%の差に収まっている。(問8)
- 外出についての相談先の比率も市全域と大きく変わらない。(問13)

《考察》

- この項目については、市全域に比べ大きな差異はない。
駅周辺で商店も多いが、良く出かけるところにそういった傾向も表れておらず、外出の用件は「生活に必要な外出」に限られていることがうかがえる。

茅ヶ崎南地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計27)	1 週に4回以上	2
	2 週に2～3回	1
	3 週に1回	4
	4 月に1～2回	13
	5 その他	6
	未記入	1
	無効回答	0
	②主な時間帯 (計27)	1 早朝(8時以前)
2 午前中		16
3 午後		8
4 夕方(17時以降)		0
未記入		1
無効回答		0
③交通手段 (計45)		1 徒歩
	2 自転車	0
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	4
	4 施設・店舗の無料バス	2
	5 自分で運転する車	0
	6 家族等が運転する車	10
	7 タクシー	16
	8 福祉タクシー	1
	9 その他	1
	未記入	0

④大変な理由 (計57)	1 距離が遠い	7
	2 交通が不便	2
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	21
	4 交通費が負担	4
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	3
	6 一人では行かれないので 付添が必要	16
	7 その他	4
④で6を選んだ人 (計17)	未記入	0
	1 家族	13
	2 友人	1
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	2
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人

茅ヶ崎南地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

《考察》

- 「徒歩」、「家族等の運転する車」、「タクシー」の3つが主な交通手段となっているが、特に「徒歩」、「タクシー」は、他地区に比べても最も多い。南口に面し、徒歩圏域で用件を済ませることが出来ている可能性がある他、タクシーの拾いやすさも影響しているものと考えられる。
- 「自分で運転する車」で出るという回答は無かった。バスの利用者も他地区に比べて少ない。上述の通り、比較的近い範囲で用件が完結していると仮説を立てると、タクシーも初乗り料金で移動が可能のため、手間・時間・費用など考えるとその方が利便性が高いとも言える。
- ④大変な理由は「身体がきつい」が最も多いが、市全域と比べると平均程度。「交通が不便」という理由は少なく、他地区に比べると「その他」が多い。この結果は、かなりパーソナルな事情がある、もしくは「駅が近く資源も多い地区特性上どの項目にも当てはまらないが、漠然と負担感や不安感を感じている」とも読み取れる。
- 「付添が必要」な人は、「家族」に同行を頼んでいる人が多い。同居率の高さが影響しているとも考えられる。

茅ヶ崎南地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計23)	1 週に4回以上	4
	2 週に2～3回	9
	3 週に1回	6
	4 月に1～2回	1
	5 その他	1
	未記入	2
	無効回答	0
②主な時間帯 (計23)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	8
	3 午後	12
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	3
	無効回答	0
③交通手段 (計33)	1 徒歩	14
	2 自転車	1
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	3
	4 施設・店舗の無料バス	2
	5 自分で運転する車	0
	6 家族等が運転する車	4
	7 タクシー	5
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	1
	未記入	3

④大変な理由 (計48)	1 距離が遠い	5
	2 交通が不便	4
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	20
	4 交通費が負担	1
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	4
	6 一人では行かないので 付添が必要	9
	7 その他	3
④で6を選んだ人 (計9)	未記入	2
	1 家族	8
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9～2で1位～3位のどこかに日用品食材等の買い物と回答した人

茅ヶ崎南地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

《考察》

- ③通院に比べ「徒歩」の比率が増え、「タクシー」の比率が減少している。通院の頻度で最も多いのが「月に1～2回」だが、買い物は「週に2～3回」で頻度が多く、毎回の買い物にタクシーを利用するには経済的な負担が大きくなり過ぎるものと考えられる。
- ④大変な理由は通院と概ね同様だが、「交通が不便」という理由が若干増加している。中海岸地域にスーパーが無く、バスなどの公共交通を利用する人が一定数いる事が関係しているものと思われる。

茅ヶ崎地南区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計13)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	0
	3 週に1回	0
	4 月に1～2回	7
	5 その他	3
	未記入	3
	無効回答	0
②主な時間帯 (計13)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	6
	3 午後	5
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	2
	無効回答	0
③交通手段 (計15)	1 徒歩	6
	2 自転車	0
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	1
	4 施設・店舗の無料バス	0
	5 自分で運転する車	0
	6 家族等が運転する車	1
	7 タクシー	5
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	0
	未記入	2

④大変な理由 (計21)	1 距離が遠い	1
	2 交通が不便	0
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	8
	4 交通費が負担	1
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭等)	0
	6 一人では行かれないので 付添が必要	8
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計9)	未記入	1
	1 家族	6
	2 友人	1
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	2
	5 その他	0
未記入	0	

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と回答した人

茅ヶ崎南地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

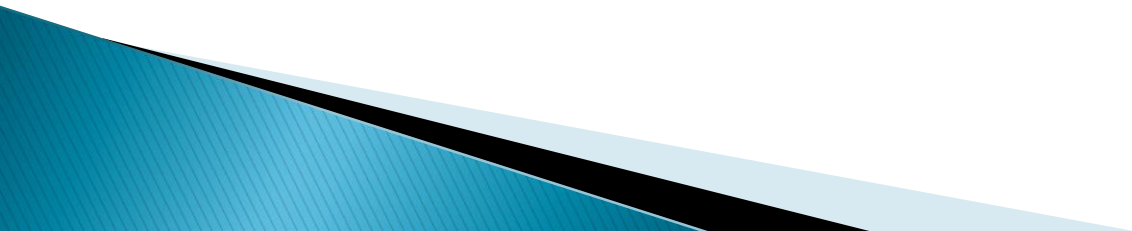
《考察》

- ③交通手段は「徒歩」と「タクシー」に二分化されている。頻度は通院と同様で、「月に1～2回」が最も多い。
- 地区内では、金融機関への外出よりも、市役所への手続きに対して大変と感じている人が多い。東海道線の北・南で生活圏域の認識に区切りがある事がうかがえる。

茅ヶ崎南地区

《全体考察》

- 茅ヶ崎駅南口に面するエリアを含み、他地区に比べると商店や金融機関、クリニックなどが多い地区ではあるが、そういった地域特性がアンケート結果に顕著に表れているかということそうではない。中海岸地域は商店・医療機関が少なく、そういった地区内の地域差により結果が均された可能性もある。また「通院・薬の受け取り」についての「大変な理由」は、他地区に比べても「その他」の回答が多い。この結果は、かなりパーソナルな事情がある、もしくは「駅が近く資源も多い地区特性上どの項目にも当てはまらないが、漠然と負担感や不安感を感じている」とも読み取れる。比較的地域資源が豊富な地区ではあるが、その環境だけでは外出の大変さは解決しないことから、個別の事情に合わせたサポートや、負担感・不安感解消の為の取り組みが必要と言える。
- 茅ヶ崎南地区に住む人の外出手段に「タクシー」が多く使われていることが分かった。上述の地域資源の観点から地区内で用件が完結する事が多く、概ね初乗り料金で移動が済む他、駅が近く手配がし易い事を考えるとバスよりタクシーの方が利便性が高い為と思われる。これは、「地区内の移動」を充実させる外出支援の仕組みのニーズがとても高い事を示していると言える。

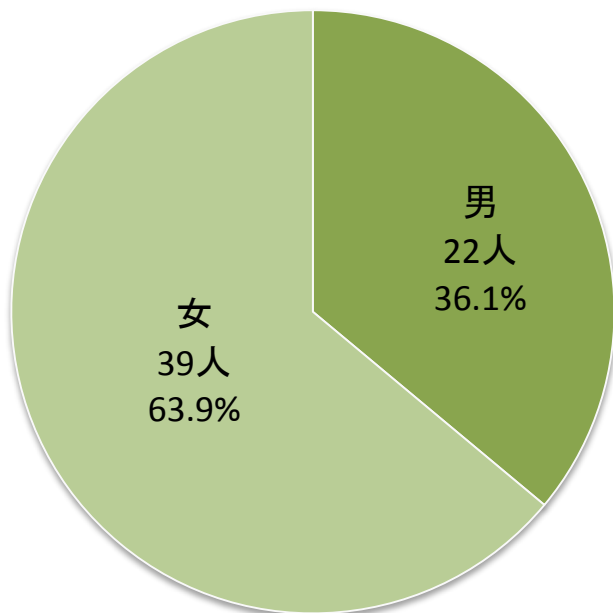


南湖地区

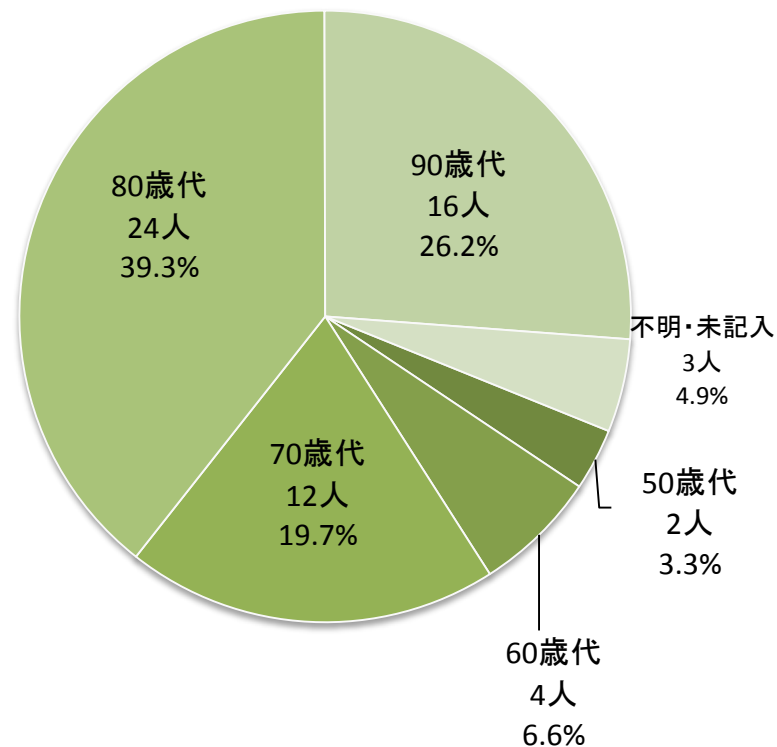
【回答数：61人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



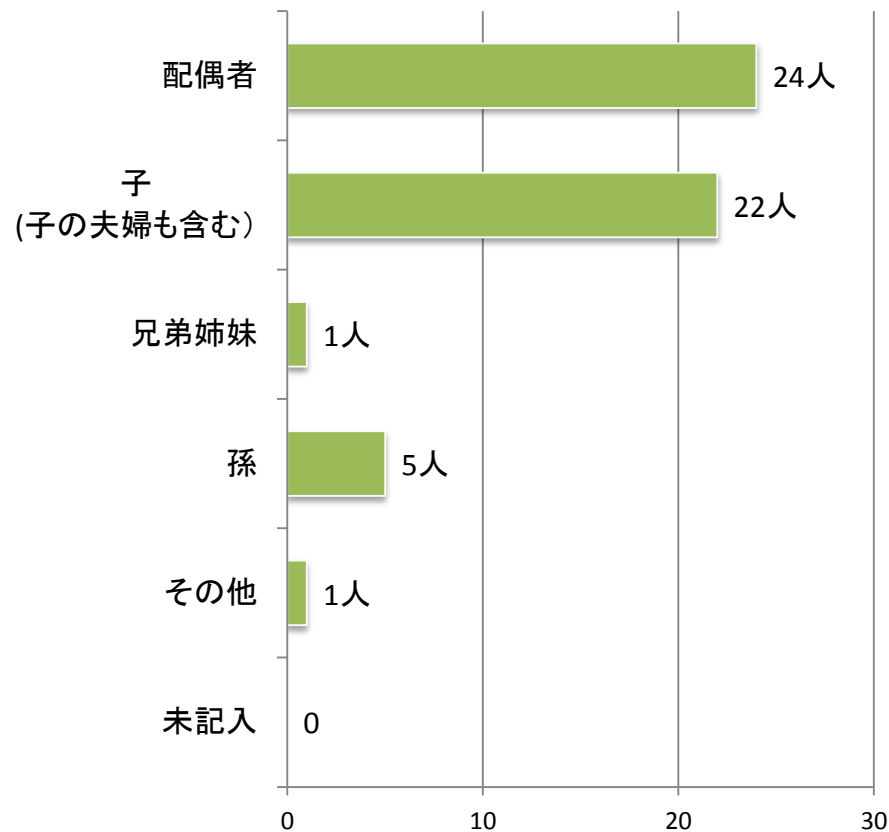
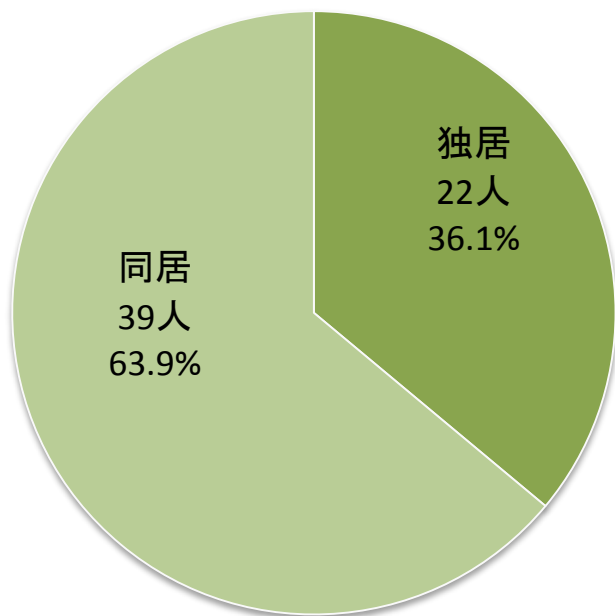
問3 あなたの年齢はおいくつですか



南湖地区

～基本項目～

問4 同居している家族についておたずねします



どなたと同居していますか
(複数回答)

南湖地区

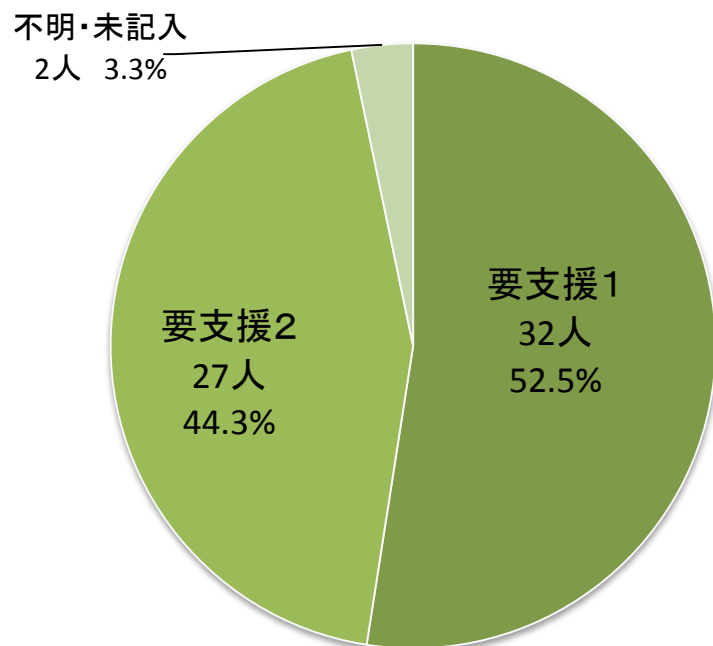
《基本項目 問2～問4 について 市全域との比較》

- 南湖地区100の配布数のうち61と6割強の回答率となった。回答があった中で8割超が70歳以上の回答となり、より後期の高齢者にフォーカスしたアンケート結果と考えることができる。1割は60歳以下の比較的若い年齢の方であった。(問3)
- 南湖地区内の道は狭く入り組んでいるが、住居は1軒1軒の土地が比較的広いところが多く、2世代もしくは3世代で住んでいる世帯も多い。(問4)

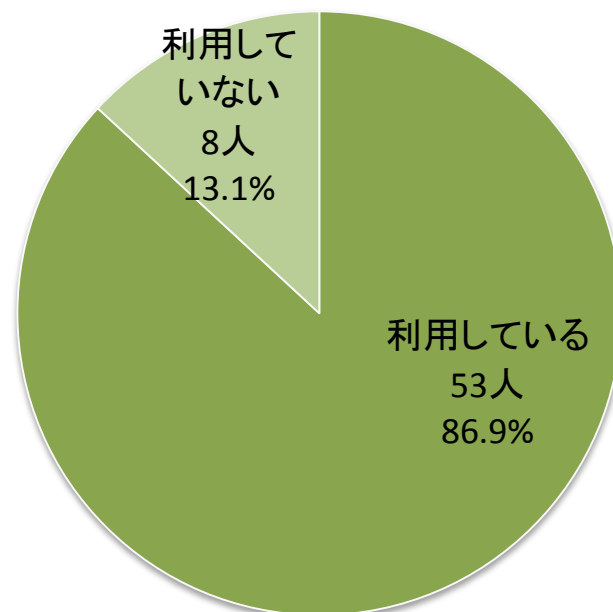
南湖地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



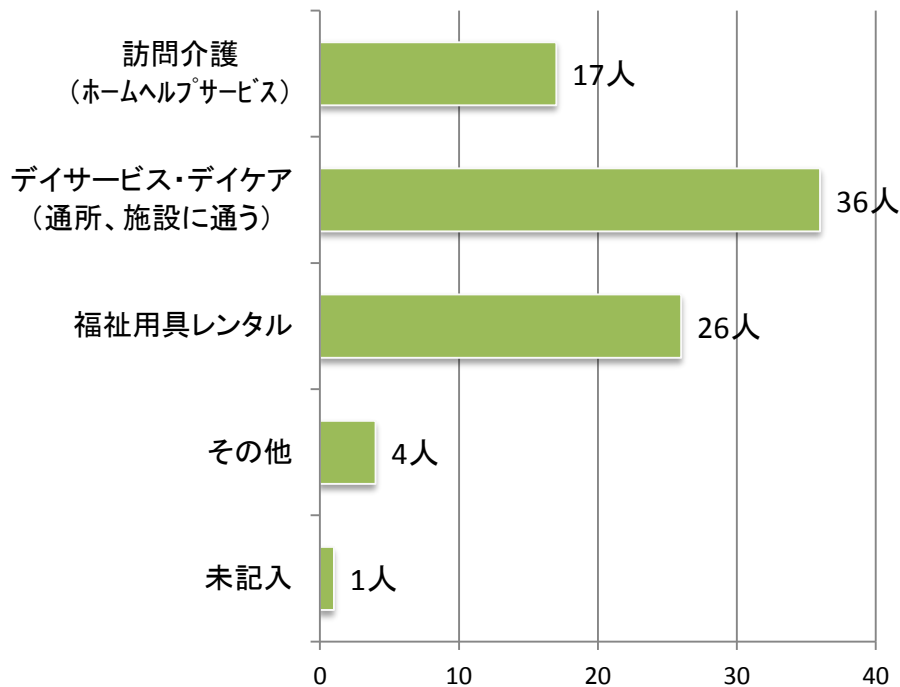
問6 現在介護保険のサービスを利用していますか



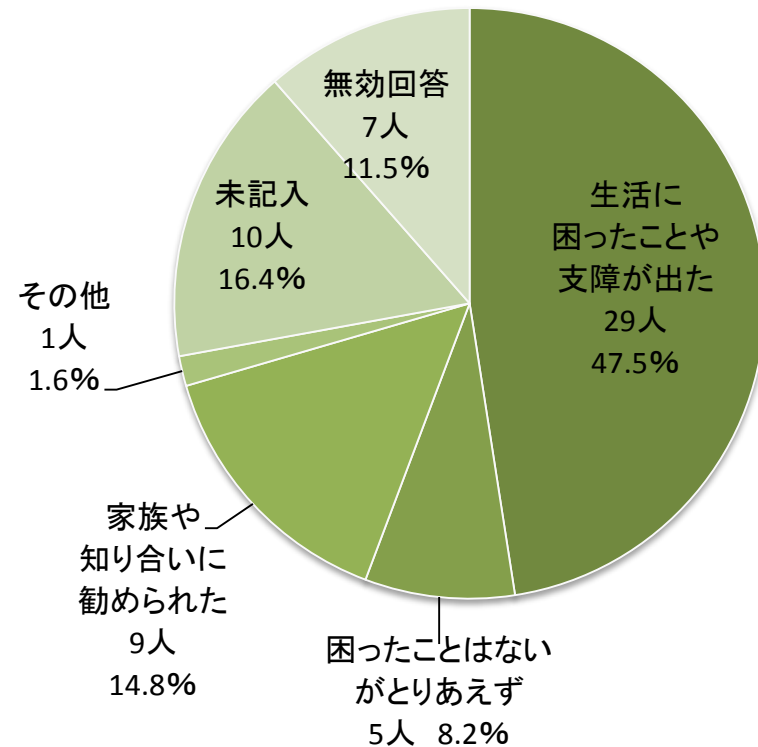
南湖地区

～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を
教えてください



南湖地区

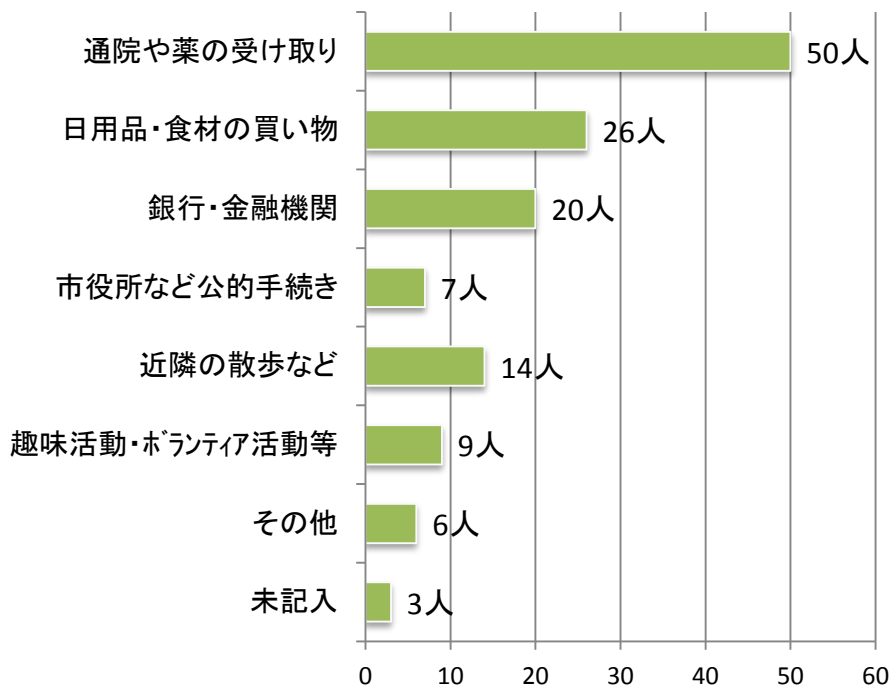
《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

- サービス利用状況で8割後半の利用率は市内1番の数値。一方で、1割強は利用していない。(問6)
 - 地域包括支援センターれんげに入る相談でも、怪我や病気、加齢に伴い足腰に支障が出たなど、結果的に「介護保険申請に関する内容」が一番多いと聞いている。その大半が困りごとが発生してからの相談や申請で、4割弱が支障はないものの「一応」、「勧められて」と今後のために申請に至っている。れんげへの相談経路としては「本人や家族」のほか、「近所の人・民生委員からの紹介・勧め」で相談に至ることも多いという。世帯数が少なく、年に1回地区内の関係団体が集まるなど、福祉団体(ボラセンや地区社協、民児協等)の連携が取れていることが要因と考えられる。(問7)
 - 利用しているサービスでは、「デイサービス・デイケア」が回答数全体の4割を超えている。
包括れんげからは、サービスの申請や相談を受ける中で、筋力維持や運動、外出機会の確保などの「健康維持・閉じこもり防止」、また、公民館にエレベーターがない・場所が遠い、送迎がないと移動できないなどの「移動に関する悩み」ほか、「1人での入浴に不安がある」などの様々な悩みが把握されるとあり、その悩みからサービス利用に至っていると考えられる。(問6-2)
- 《考察》 サービスの利用率が8割後半の中、1割強は利用していない。その理由等を把握できると課題把握のヒントとなる可能性がある。

南湖地区

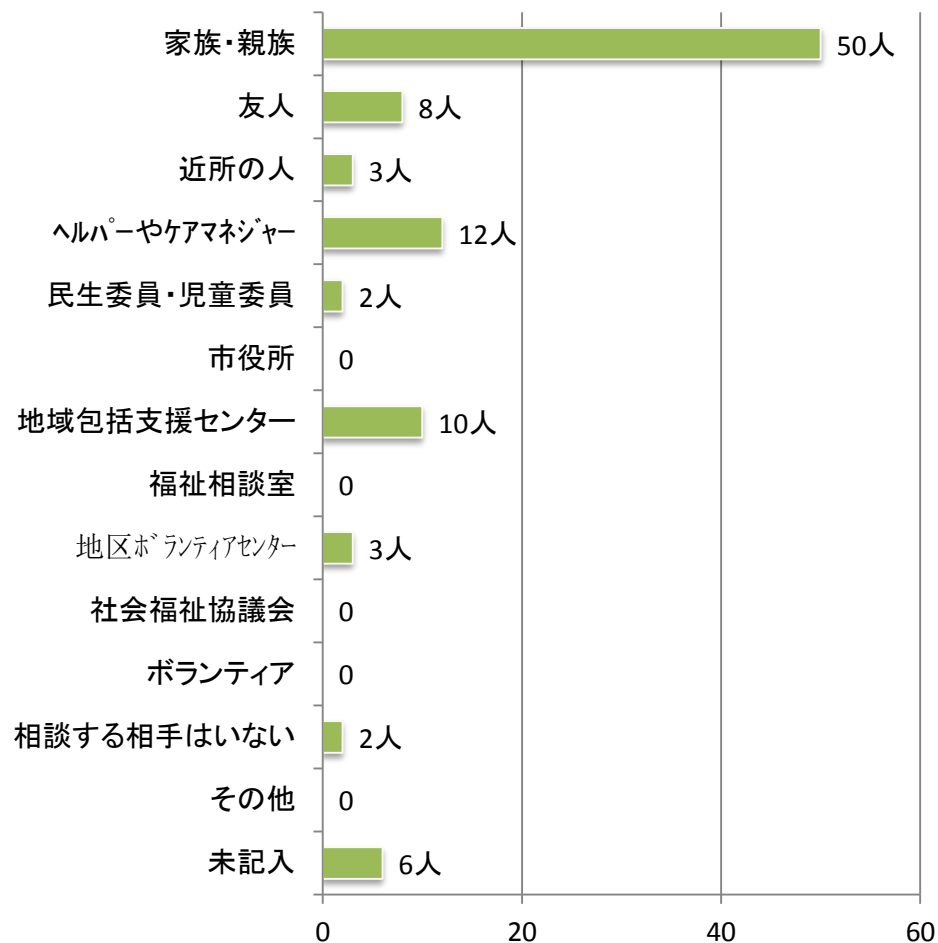
～外出関連～

問8 普段よく出かけるところを教えてください
(複数回答)



※その他：カラオケ、犬の散歩、
コンビニ、自転車散歩等

問13 外出について困ったことがある時などは
誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



南湖地区

《外出関連 問8・問13 について 市全域との比較》

- 「買い物」を超える割合で「通院や薬の受取り」が多く、市とも同じ傾向。(問8)
- 外出の相談先では、圧倒的に「家族・親族」が多く、同居もしくは近くに住んでいる可能性が高い。また、公的機関だけではなく、「友人」や「近所の人」のほか、「地区ボランティアセンター」や「民生委員・児童委員」という地域の団体へ相談するという人もいて、地域団体の認知もあるよう。(問13)

《考察》

「趣味・ボランティア活動等」の数値が低い理由としては、前述問5～問7の考察でも述べたように、健康に対する意識が強く、介護保険サービスの利用で希望の活動(体操等)が出来ていることや、求めている内容は現在のサロン(おしゃべり等)では達成できないことが考えられる。包括れんげでは、男性から「サロンで人間関係を築くのが面倒」という意見を聞いたということ。

南湖地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計30)	1 週に4回以上	1
	2 週に2～3回	7
	3 週に1回	5
	4 月に1～2回	16
	5 その他	0
	未記入	1
	無効回答	0
②主な時間帯 (計30)	1 早朝（8時以前）	0
	2 午前中	22
	3 午後	7
	4 夕方（17時以降）	0
	未記入	1
	無効回答	0
	③交通手段 (計46)	1 徒歩
2 自転車		4
3 バス (路線・えぼし号・予約乗 合)		11
4 施設・店舗の無料バス		1
5 自分で運転する車		1
6 家族等が運転する車		10
7 タクシー		9
8 福祉タクシー		2
9 その他		1
未記入		1

④大変な理由 (計53)	1 距離が遠い	5
	2 交通が不便	3
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	21
	4 交通費が負担	6
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	1
	6 一人では行かないので 付添が必要	16
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計18)	未記入	1
	1 家族	15
	2 友人	1
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	2
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人

南湖地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

《考察》

- ① 何科への通院と薬なのかは不明だが、「月1～2回」の通院が多い中、認定区分の中で軽度である要支援1・2でも毎週の通院が必要な方がいる。
- ② 通院する時間帯は「午前中」が多く、アンケート回答者などがサロンに参加できるようにするためには、午後からのサロンを検討することも一つである。
- ③ 「バス」と同じ割合で「タクシー」がある。地区内は道が狭くバスが入れないため、
大通り付近に住んでいる住民はバス利用が比較的可能だが、大通りから離れていると「家族等が運転する車」かタクシーに頼らざるを得ないと考えられる。
:「施設・店舗の無料バス」を使用している人がいることから、そのようなサービスがあることをもっと周知できれば、負担が少なくなる可能性が考えられる。
- ④ 距離や道に関する選択肢(1・2・5)の割合は低いが、選択肢3及び6が高く一人では通院等しづらい状況。付添いはほぼ「家族」に依頼できていると考えられる。

南湖地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計28)	1 週に4回以上	1
	2 週に2～3回	12
	3 週に1回	7
	4 月に1～2回	4
	5 その他	3
	未記入	1
	無効回答	0
②主な時間帯 (計28)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	20
	3 午後	8
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	0
	無効回答	0
③交通手段 (計43)	1 徒歩	11
	2 自転車	5
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	8
	4 施設・店舗の無料バス	2
	5 自分で運転する車	0
	6 家族等が運転する車	10
	7 タクシー	5
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	2
	未記入	0

④大変な理由 (計45)	1 距離が遠い	3
	2 交通が不便	2
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	22
	4 交通費が負担	1
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	3
	6 一人では行かれないので 付添が必要	13
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計14)	未記入	1
	1 家族	12
	2 友人	1
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに日用品食材等の買い物と回答した人

南湖地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

《考察》

- ① 毎週買い物で出かけていると考えられる数値。
- ② 昼間(特に午前中)の買い物が多く、夕方に出かけることはない。
- ③④ :「徒歩」と「家族等が運転する車」の割合が高い。近くにハマミーナがある反面、地区内部に入ると徒歩圏内に店は少ない。大通り沿い及びハマミーナ付近の住民は自分自身でも買い物できるが、遠いと持ち運びも含めて付添いが必要なのではと考えられる。
:「施設・店舗の無料バス」を使用している人がいることから、そのようなサービスがあることをもっと周知できれば、負担が少なくなる可能性が考えられる。

南湖地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計18)	1 週に4回以上	1
	2 週に2～3回	1
	3 週に1回	2
	4 月に1～2回	12
	5 その他	2
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計18)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	11
	3 午後	7
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	0
	無効回答	0
③交通手段 (計27)	1 徒歩	5
	2 自転車	3
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	5
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	10
	7 タクシー	2
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	0
	未記入	0

④大変な理由 (計35)	1 距離が遠い	4
	2 交通が不便	5
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	12
	4 交通費が負担	3
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	0
	6 一人では行かれないので 付添が必要	11
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計11)	未記入	0
	1 家族	8
	2 友人	2
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と回答した人

南湖地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

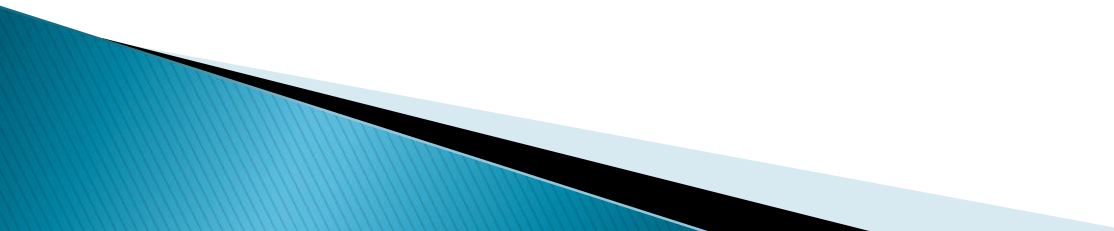
《考察》

- ① 通院や買い物に比べると外出の頻度は少なくなる。
- ② 時間帯としては午前中に利用する方が多い。
- ③ 金融機関等の無料バスがあるかは不明。おそらく他の無料バス(徳洲会病院のバス等)を上手く活用しているものと考えられる。
- ④ 金融機関への付添だけ「友人」が他よりも多くなっている。昔から住んでいる住民と新しく引越してきた住民がいる南湖地区では、付き合いが長い知り合いにはお金関係の付添も依頼しやすいのかもしれない。

南湖地区

《全体考察》

- 南湖地区は茅ヶ崎市市内でも世帯数が少ない。このため地域団体内でも兼務が多く、
組織同士の連携が取りやすいこともあり、相互に相談をしたり、支援をしあえる環境が比較的整っている。
- 外出は午前中に集中しているため、サロンに参加できるようにしていくためには、時間帯を検討(午後の開催)することも必要。
- また、健康への意識が強く、身体機能を維持できるような内容が求められているため、事業所と連携し、会場と講師派遣をコーディネートしてサロンを行うというやり方も一つではないかと考える。
- 地区北部はサロン等の会場として使用できる場所がなく、空き家等の利活用を検討する必要がある。
- 移動手段では「施設・店舗の無料バス」が挙げられている。上手く周知・活用できれば、外出への負担が軽くなるのではないかと考える。
また、地区内でも大通り沿いではなく、道が狭くバスなどの交通機関が利用し難い地区の中ほどの住民はタクシー等を利用することとなるため、外出への負担を軽くするには、活用できる資源などの把握・周知も必要である。

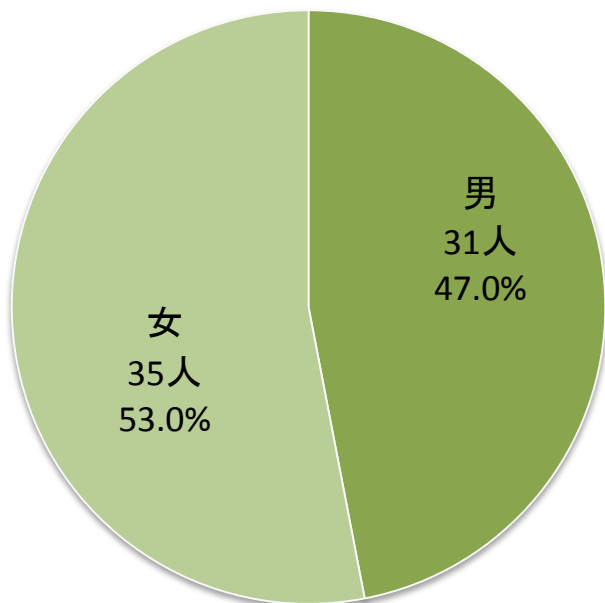


海岸地区

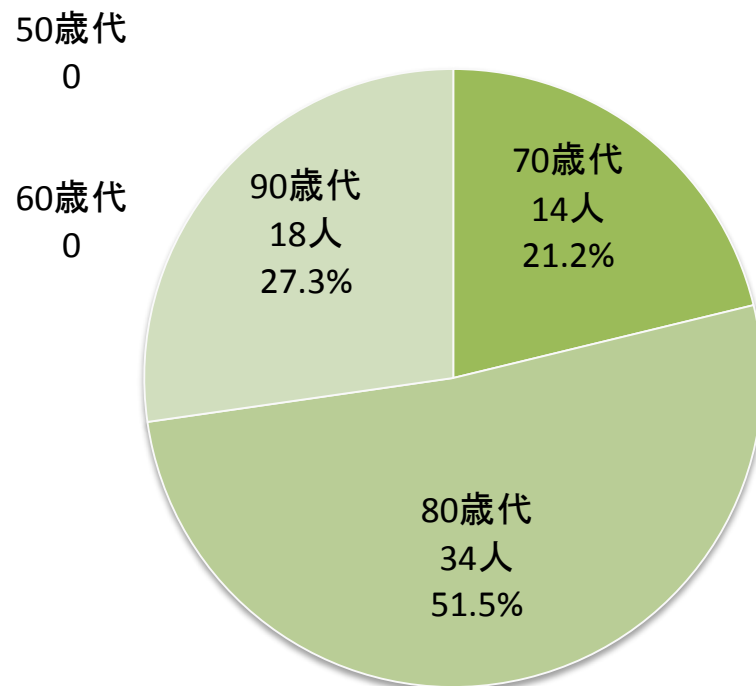
【回答数：66人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



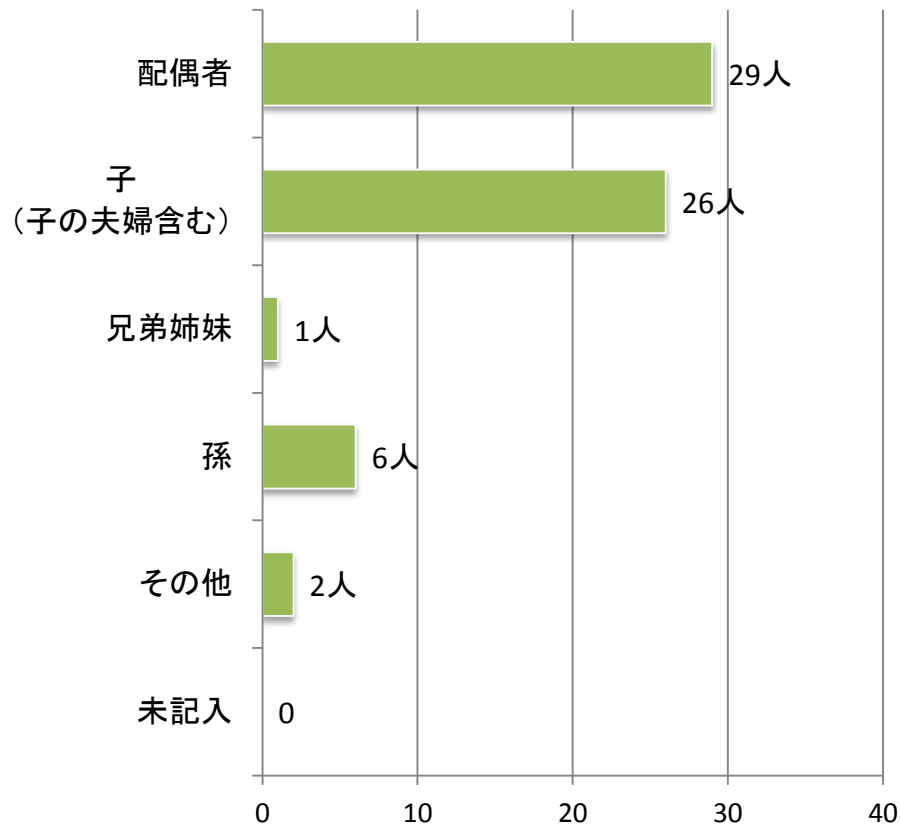
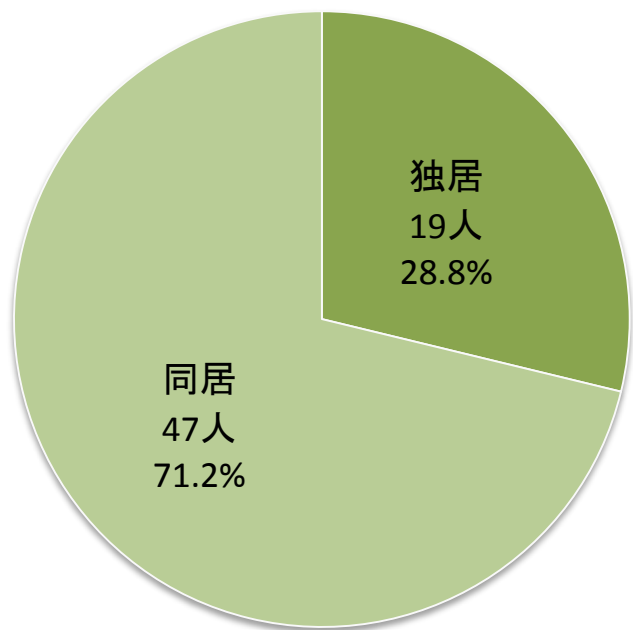
問3 あなたの年齢はおいくつですか



海岸地区

～基本項目～

問4 同居している家族についておたずねします



どなたと同居していますか？

(複数回答)

海岸地区

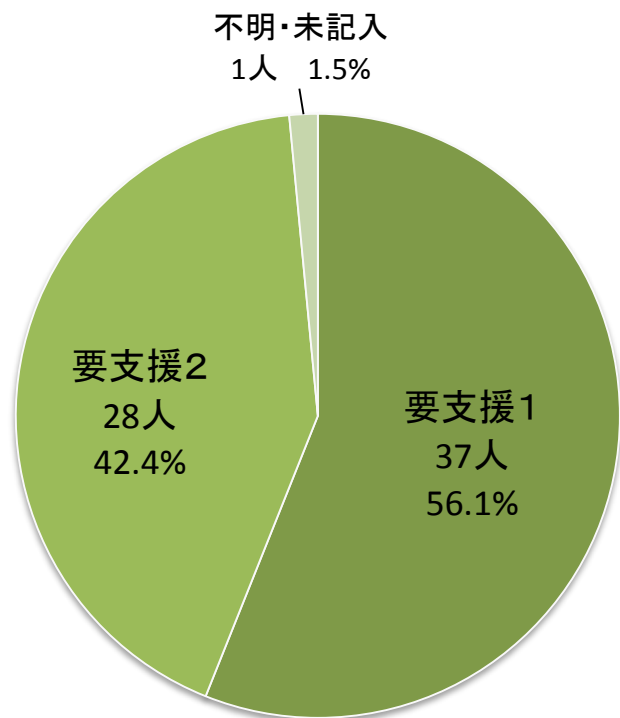
《基本項目 問2～問4 について 市全域との比較》

- 要支援者の年齢では60代が見られず、70～90代に固まっている。第1号被保険者で、後期高齢世代に集中しているアンケート結果であると考えられる。(問3)

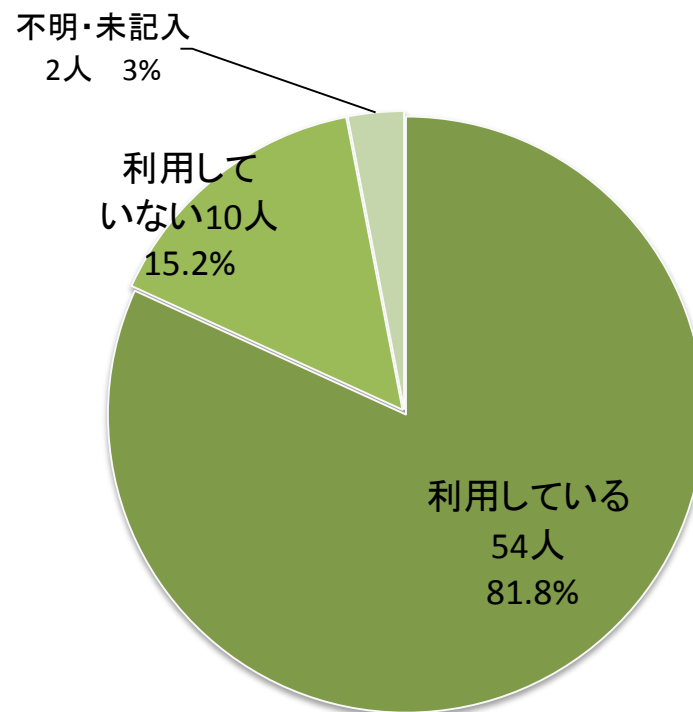
海岸地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



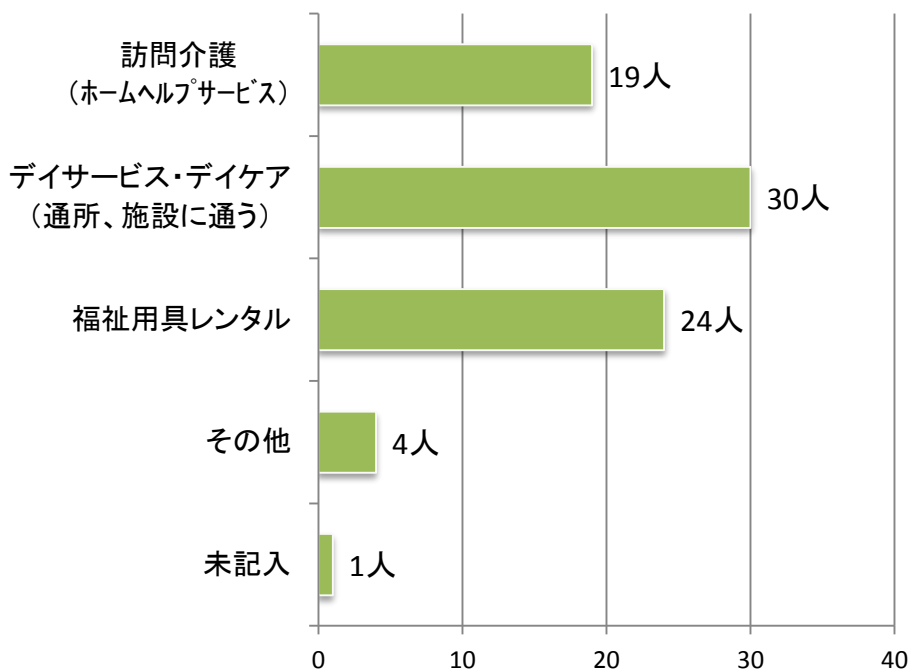
問6 現在介護保険のサービスを利用していますか



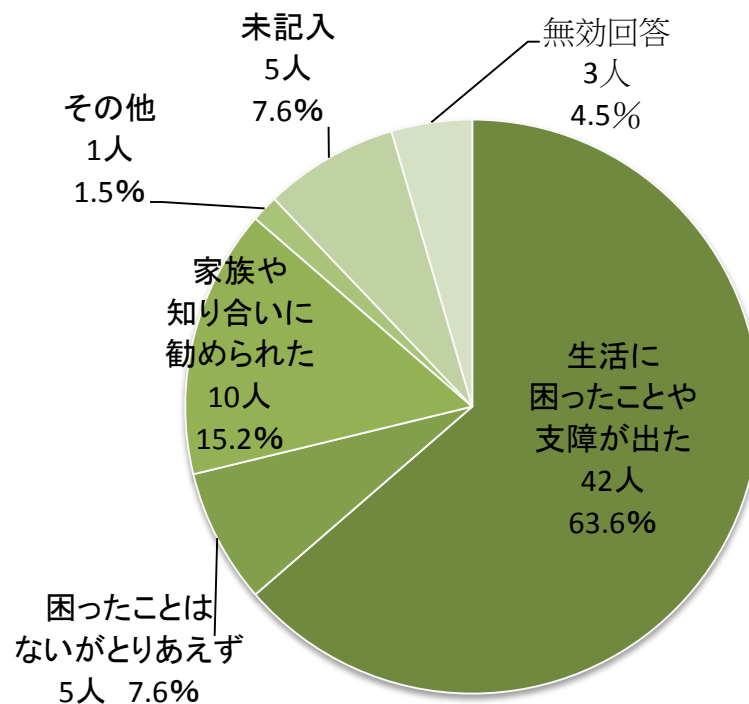
海岸地区

～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を
教えてください



海岸地区

《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

- 介護認定を受け、介護保険サービスを利用している人の割合が他地区と比しても高いほうに入る。(問5・問6)
- 利用サービスの中では通所サービスが多い。
ミニデイ・サロンを行っている拠点が地区外や地区の外れにあることで、自力で通えないこともあるためか。(問6-2)

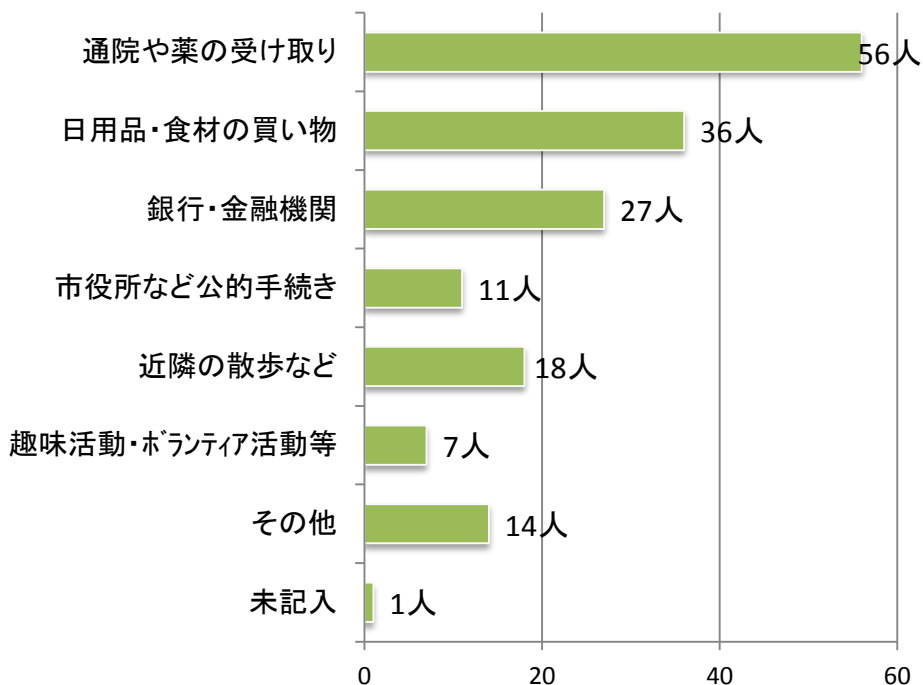
《考察》

- 「高齢になると近隣の人が亡くなったり、子どもの所へ引っ越したりと近所付き合いが少なくなり、単身である则一日誰とも話さない日がある」との声もある。地区内で通所サービスの利用が最も多いことから、通所施設等と連携をしていくことや、自力で通える小地域でのミニデイ・サロン開催支援が必要と思われる。
- 地域包括支援センターでは、「使わないが受けられるサービスは受けておきたい」「とりあえず申請しておきたい」という世帯からの相談も多いとのこと。制度に対する住民意識が高いか。

海岸地区

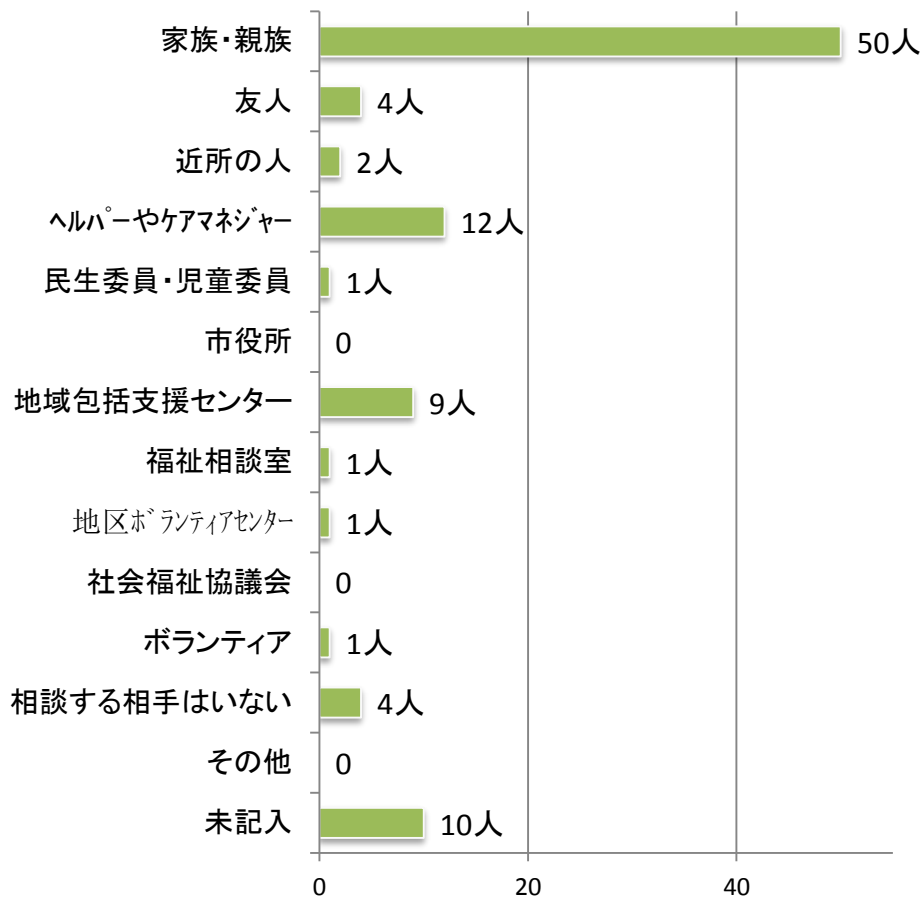
～外出関連～

問8 普段よく出かけるところを教えてください
(複数回答)



※その他：カラオケ、体操、理髪店、
ポスト、デイサービス等

問13 外出について困ったことがある時などは
誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



海岸地区

《外出関連 問8・問13 について 市全域との比較》

- 相談先としては、「家族・親族」の回答が圧倒的多数である。「地域包括支援センター」、「福祉相談室」、「地区ボランティアセンター」の回答があることは強みと思われる。しかし「相談する相手がいない」と回答した人に対するフォローが十分であるとは言えない数値結果である。(問13)

《考察》

- 土地が広く大きな家も多く、同敷地内に子が家を建てるケースもあるが、親子の関わりが少なく頼みにくいために地区ボランティアセンターへ依頼が来る事例がある。これらからは、「家族・親族」の数が多いことと、安心は繋がっていない面もあるのではないかと考える。
- 平成29年4月から中海岸が分離して東海岸北・南のみとなり、令和元年10月1日より地域包括支援センターが管轄する地区割りがよりコンパクトになっている。身近な相談窓口周知に努めるべく、包括支援センター・福祉相談室含め地区と各関係機関との連携をより強固なものしていく必要がある。

海岸地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計36)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	9
	3 週に1回	7
	4 月に1～2回	13
	5 その他	5
	未記入	2
	無効回答	0
	②主な時間帯 (計36)	1 早朝(8時以前)
2 午前中		26
3 午後		7
4 夕方(17時以降)		0
未記入		3
無効回答		0
③交通手段 (計59)		1 徒歩
	2 自転車	0
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	7
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	2
	6 家族等が運転する車	14
	7 タクシー	15
	8 福祉タクシー	1
	9 その他	4
	未記入	2

④大変な理由 (計71)	1 距離が遠い	11
	2 交通が不便	8
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	25
	4 交通費が負担	3
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	3
	6 一人では行かれないので 付添が必要	17
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計17)	未記入	2
	1 家族	16
	2 友人	1
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人

海岸地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

《考察》

- ③ : 出掛ける主な手段として、住宅が密集しているクラスター地域は狭い道を車が通り歩くのが危険なこともあり、「タクシー」を利用する人が多いと想定される。
- : 「施設・店舗の無料バス」利用があるのは茅ヶ崎徳洲会病院のシャトルバス利用等が考えられる。
- : 「車」利用は、身近な地区内には大きい医療機関が少ないことから、地区外や市外の医療機関を利用する人も多いのではないかと想定される。

海岸地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計33)	1 週に4回以上	3
	2 週に2～3回	10
	3 週に1回	10
	4 月に1～2回	7
	5 その他	3
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計33)	1 早朝(8時以前)	1
	2 午前中	20
	3 午後	11
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	1
	無効回答	0
③交通手段 (計48)	1 徒歩	14
	2 自転車	3
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	5
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	9
	7 タクシー	8
	8 福祉タクシー	2
	9 その他	4
	未記入	1

④大変な理由 (計66)	1 距離が遠い	10
	2 交通が不便	8
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	23
	4 交通費が負担	2
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	6
	6 一人では行かれないので 付添が必要	14
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計15)	未記入	1
	1 家族	13
	2 友人	2
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	0
未記入	0	

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9～2で1位～3位のどこかに日用品食材等の
買い物と回答した人

海岸地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

《考察》

- ① 外出頻度としては、「週に1回」ないし「週2～3回」と回答している人が多く買い物
が、困難ではあるが外出の機会ともなっている。
- ③ : 地区内にスーパーの数が少なく、大きなスーパーもないため、「徒歩」と回答し
た人は近くに点在するコンビニエンスストアを利用している人がいるのではない
かと想定される。
: 「徒歩」以外では、「家族が運転する車」、「タクシー」を利用するとの回答が多
い。
- ④ 「一人では行かないので付添が必要」であり、「家族」に付添を頼む人も多い。
これを見ると、買い物の内容により、歩いて買って帰ることが難しいことも想定さ
れる。歩いて行かれる人は、買ったものを宅配してくれるサービス等の情報があ
ると役に立つ可能性もあるのではないか。

海岸地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計27)	1 週に4回以上	1
	2 週に2～3回	3
	3 週に1回	3
	4 月に1～2回	17
	5 その他	3
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計27)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	17
	3 午後	8
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	2
	無効回答	0
③交通手段 (計42)	1 徒歩	12
	2 自転車	0
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	8
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	8
	7 タクシー	7
	8 福祉タクシー	1
	9 その他	3
	未記入	1

④大変な理由 (計50)	1 距離が遠い	9
	2 交通が不便	5
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	17
	4 交通費が負担	2
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	3
	6 一人では行かれないので 付添が必要	13
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計14)	未記入	1
	1 家族	12
	2 友人	2
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	0
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と回答した人

海岸地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

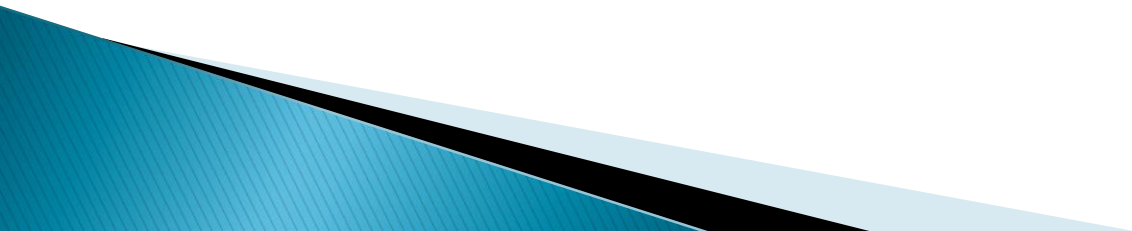
《考察》

- ③ 金融機関については駅近くの中心地にあることが多く、そこまで出る必要があるため、一定程度の「バス」利用者があることが想定される。

海岸地区

《全体考察》

- 出かける主な時間帯については、どの項目も「午前中」が多い。
今後新たにミニデイ・サロンを開催する場合、外出しやすい時間帯を狙うと良いと思われるが、現在あるミニデイ・サロンは午前中開催が多い。午前中用事を済ませ、午後は比較的時間の余裕があると考えれば、試行的に午後開催も良いと思われる。
- 現在ある地区内拠点（東海岸会館、海岸地区コミュニティセンター）は地区の外れにあるなど「使いづらい」との意見がある。福社会館に代わり新たな拠点となったうみかぜテラスも、新設当初は行きづらいとの声を聞いた。バスルートが覚えられないこともあるのか、高齢者にとって慣れるまで時間を要することもあると考えられる。
- 交通手段の利用傾向としては、えぼし号や神奈中等の「バス」が大通り（東西は桜道、鉄砲道、134号線、南北は雄三通り、一中通り）を通るにも関わらず、「タクシー」や「徒歩」が多い。
- いずれの行き先も「距離が遠い」と感じる人が多いよう。地図上、大通りには多くの店があるように見えるが、住宅密集地からだとバス停も店も距離が遠いものと思われる。
- 上記理由及び「交通が不便」と感じる人も市内平均より多くいることから、地区内でその結果を共有し、理由を考察する機会があると良いかも知れない。地区内に使いやすい拠点がもっと出来るように、空き家の活用支援等も必要と思われる。

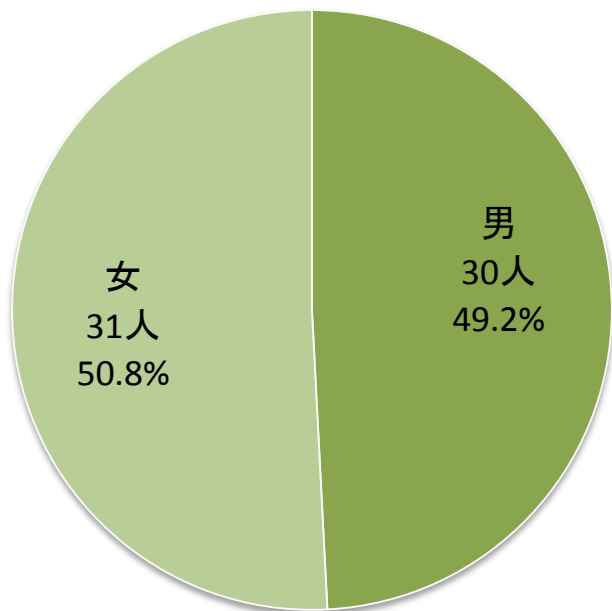


鶴嶺東地区

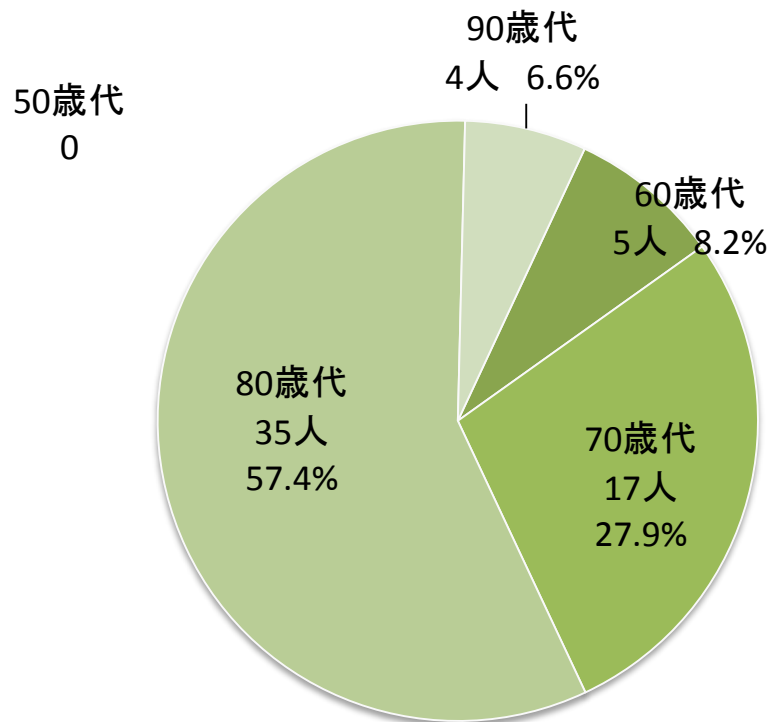
【回答数：61人／100人】（問1）

～基本項目～

問2 あなたの性別をおたずねします



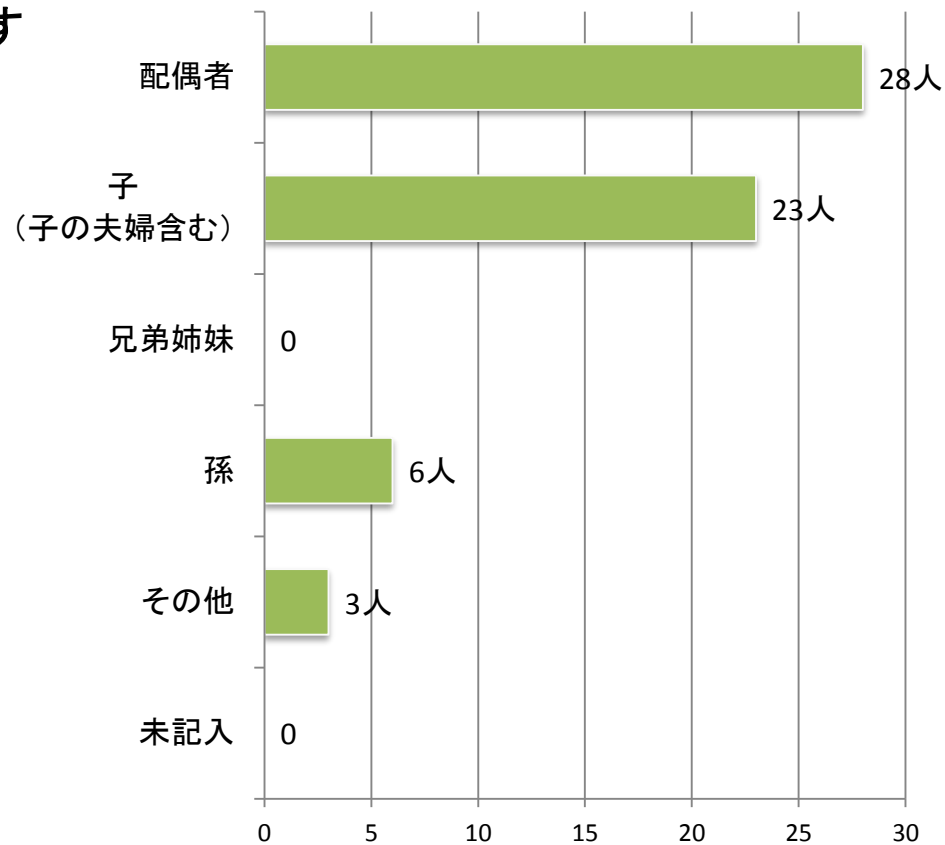
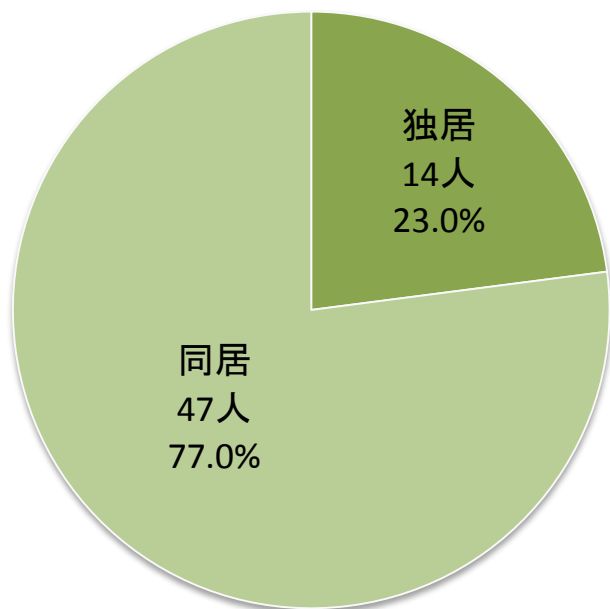
問3 あなたの年齢はおいくつですか



鶴嶺東地区

～基本項目～

問4 同居している家族についておたずねします



どなたと同居していますか？(複数回答)

鶴嶺東地区

《基本項目 問2～問4 について 市全域との比較》

- 市域では80代が全体の48.8%であるのに対して57.4%ある。
市域では90代が全体の18.8%に対して6.6%となっており、市域全体の中からはやや下回っている。(問3)
- 独居については市域全体が27.4%に対して23%とやや平均を下回っているといえる。(問4)
- 同居の 카테고리 について、配偶者や子との同居は市域のバランスとほぼ変わらず平均的である。(問4)

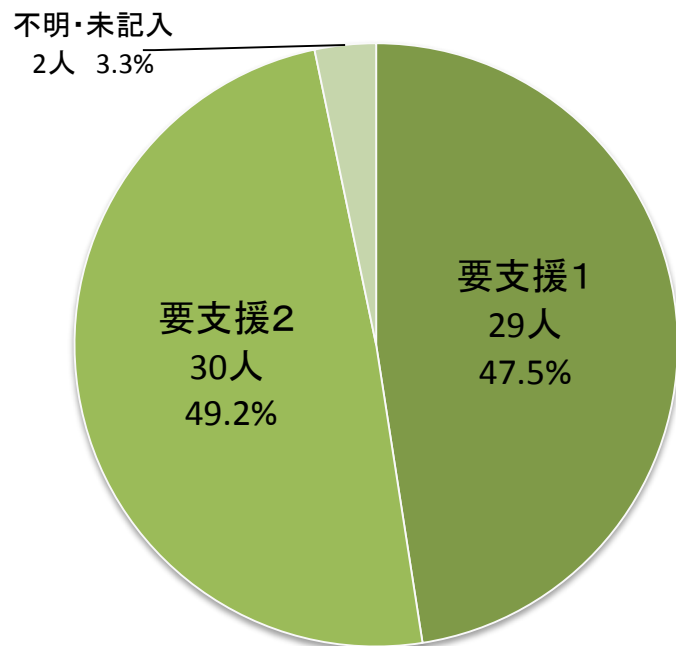
《考察》

古くからの果樹園や畑、農家等がある地域と、分譲住宅、近年は大型マンションが建設されるなどバラエティに富んでいる地域である。新しい世代も入ってきており、様々な世代、世帯が混在し、概ね平均的な結果になっていると思われる。

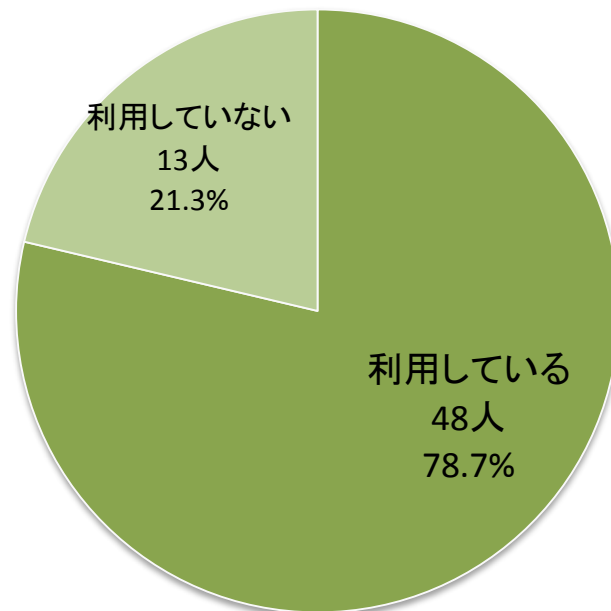
鶴嶺東地区

～介護認定関連～

問5 認定を受けている介護度をおたずねします



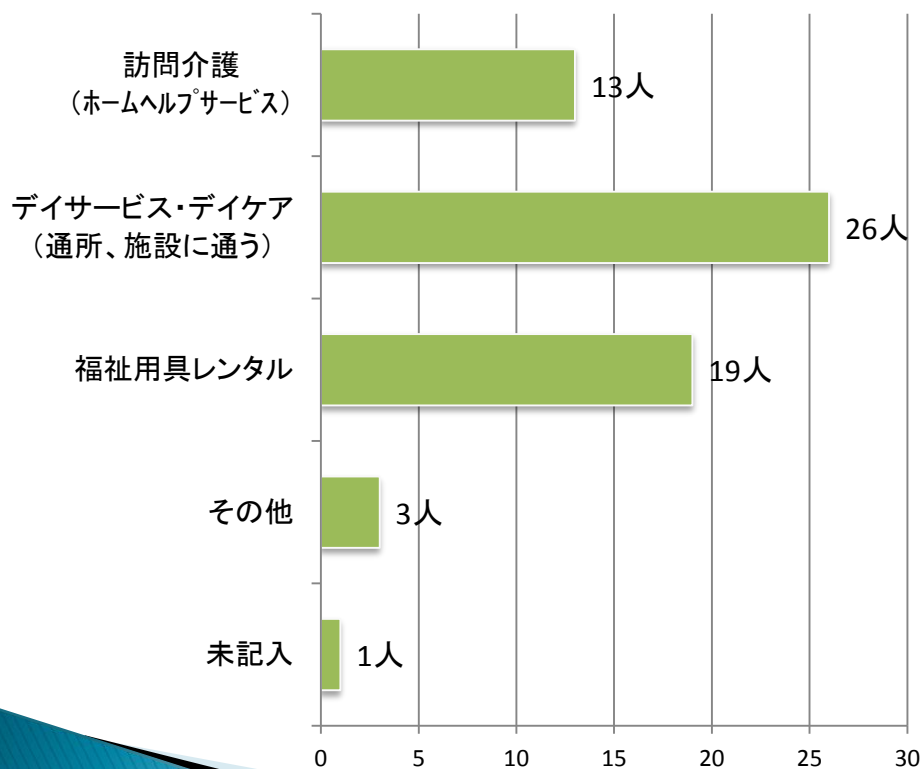
問6 現在介護保険のサービスを利用していますか



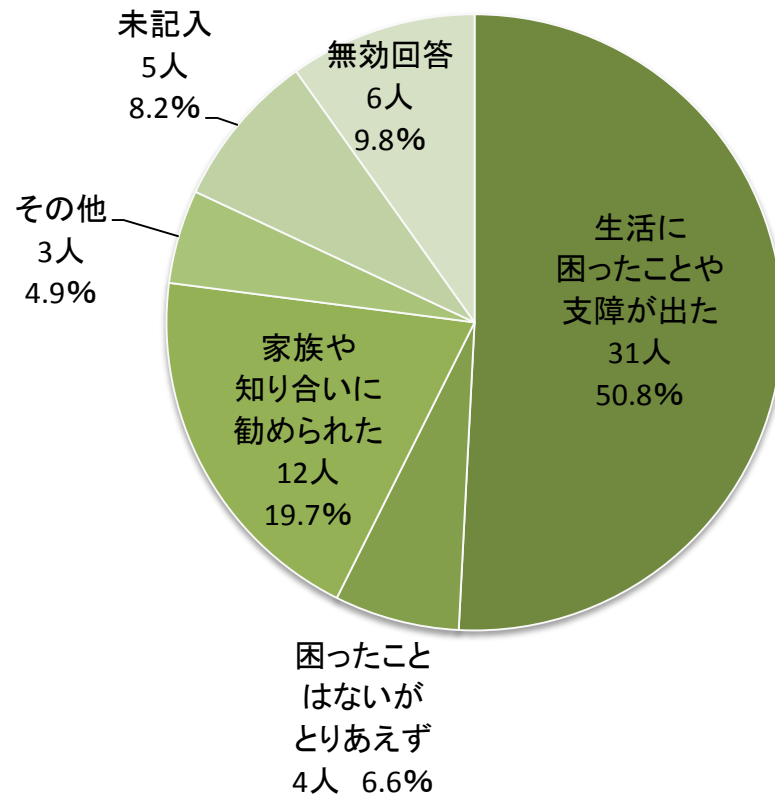
鶴嶺東地区

～介護認定関連～

問6-2 利用しているサービスを教えてください
(複数回答)



問7 介護保険の申請をした理由を
教えてください



鶴嶺東地区

《介護認定関連 問5～問7 について 市全域との比較》

- 介護認定については要支援1が市域49.3%に対して47.5%、要支援2が市域46.6%に対して49.2%とやや要支援2の方が多傾向にある。(問5)
- 介護保険サービスの利用については市域が75.7%に対して利用が78.7%とやや多い傾向にある。(問6)
- 利用している内容については市域とほぼ変わらない。(問6-2)
- 介護保険申請理由については「生活するのに困ったことや支障が出てきたため」は市域が54.2%対して50.8%と少ない。「家族や知り合いに勧められた」が19.7%と市域よりやや多い。(問7)

《考察》

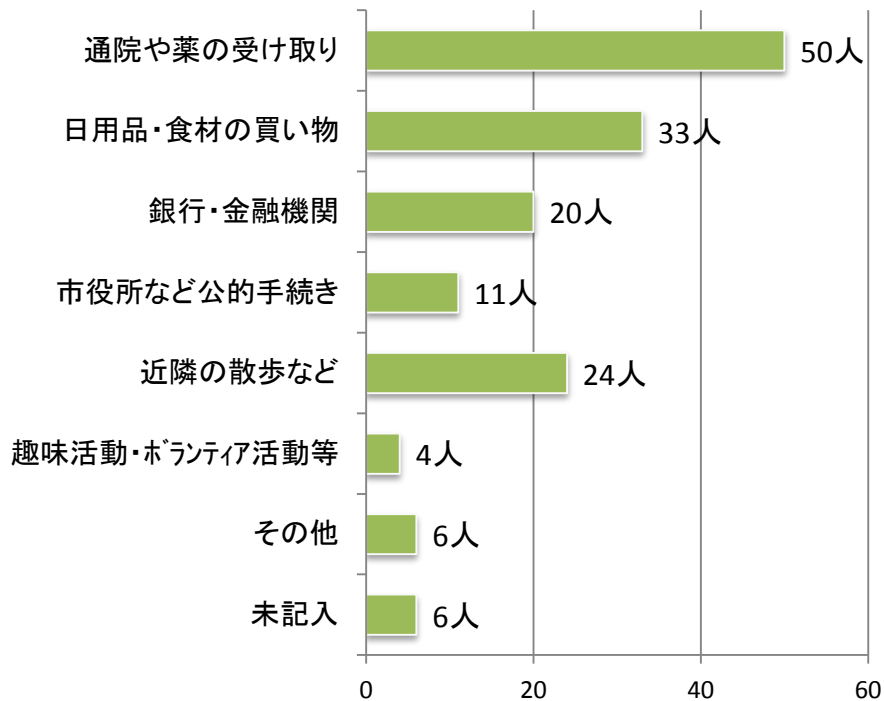
結果的にはサービス利用者の割合は市域全体よりやや多いため、必要性をそれほど感じていなかった方も勧められて申請した結果サービス利用につながっていることが推測される。

鶴嶺東地区

～外出関連～

問8 普段良く出かけるところを教えてください

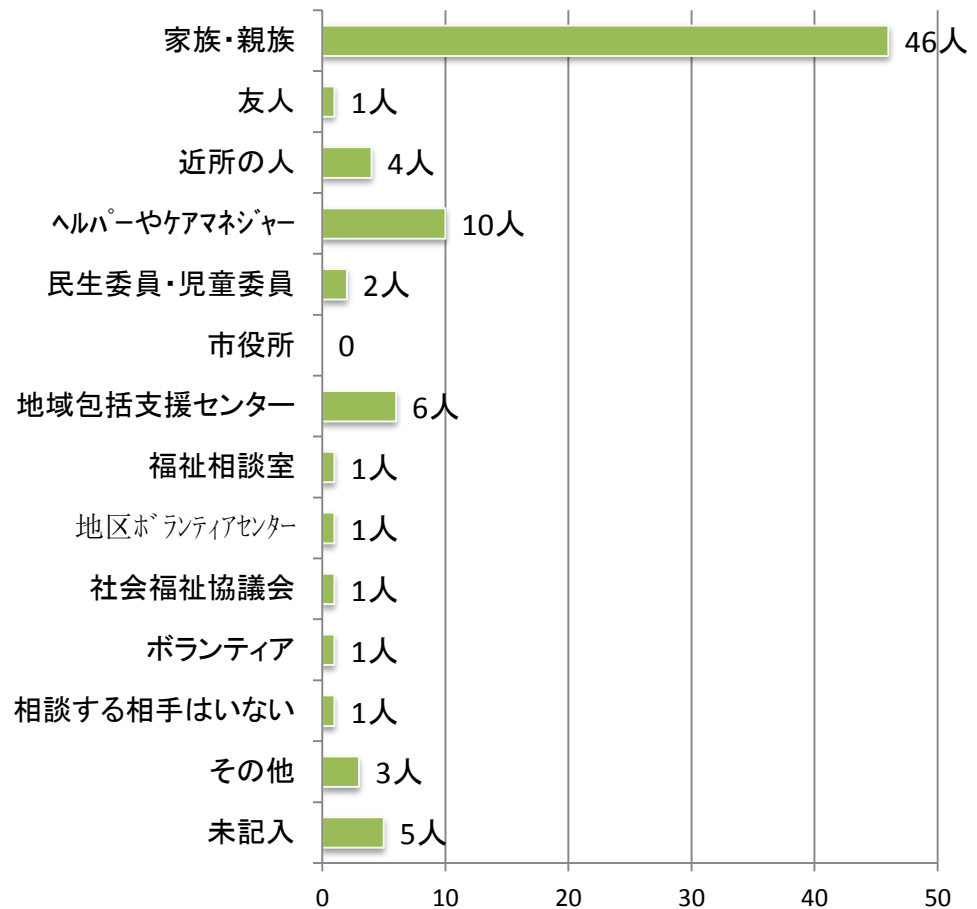
(複数回答)



※その他： 作業所、コミュニティ料理、
宗教の集まり、リハビリ

問13 外出について困ったことがある時など

誰(どこ)に相談しますか (複数回答)



鶴嶺東地区

《外出関連 問8・問13について 市全域との比較》

- 普段良く出かける外出先については、ほぼ市域の平均と同程度である。「趣味・ボランティア活動」については市域に対してやや少ないが、「その他」の記述として「コミュニティ料理」や「作業所」の記載もあり、多様な外出先があることも示されている。(問8)
- 外出について困った時の相談先は、「家族・親族」と回答した人が46人で1位、「ヘルパーやケアマネ」は10人で2位と、市域の順位構成と変わらない。(問13)

《考察》

- 同居率が市域の平均よりやや高いことから、家族や親族の協力を得ながら生活している高齢者が比較的多いことが推察される。

鶴嶺東地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

①出かける頻度 (計22)	1 週に4回以上	1
	2 週に2～3回	1
	3 週に1回	3
	4 月に1～2回	12
	5 その他	5
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計22)	1 早朝(8時以前)	1
	2 午前中	16
	3 午後	4
	4 夕方(17時以降)	1
	未記入	0
	無効回答	0
	③交通手段 (計32)	1 徒歩
2 自転車		1
3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)		8
4 施設・店舗の無料バス		0
5 自分で運転する車		1
6 家族等が運転する車		7
7 タクシー		8
8 福祉タクシー		0
9 その他		4
未記入		0

④大変な理由 (計49)	1 距離が遠い	9
	2 交通が不便	5
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	15
	4 交通費が負担	8
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	1
	6 一人では行かないので 付添が必要	11
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計11)	未記入	0
	1 家族	10
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	0
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9～2で1位～3位のどこかに通院・薬受取りと回答した人

鶴嶺東地区

～特に大変と感じる外出について 1～ 【通院・薬の受け取り】

《考察》

- 頻度は「月に1～2回」が多く、定期的な通院をしている人が多いと推察される。
- 交通手段は「タクシー」「バス」に次いで「家族等が運転する車」があがっている。
- 大変な理由として「体がきつい」、次いで「一人では行かれないので付添が必要」があがっており、家族の手助けなどを受けながら通院していることが推察される。
- 地区ボランティアセンターへ障害のある人の市立病院への付き添い依頼なども数件あることなどから、ニーズは一定数あると推察される。地域としては湘南東部総合病院や開業医も点在している。

鶴嶺東地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

①出かける頻度 (計15)	1 週に4回以上	3
	2 週に2～3回	4
	3 週に1回	3
	4 月に1～2回	4
	5 その他	1
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計15)	1 早朝(8時以前)	0
	2 午前中	7
	3 午後	7
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	1
	無効回答	0
③交通手段 (計21)	1 徒歩	6
	2 自転車	1
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	2
	4 施設・店舗の無料バス	1
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	5
	7 タクシー	2
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	3
	未記入	0

④大変な理由 (計29)	1 距離が遠い	5
	2 交通が不便	3
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	9
	4 交通費が負担	2
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	4
	6 一人では行かれないので 付添が必要	4
	7 その他	2
④で6を選んだ人 (計5)	未記入	0
	1 家族	3
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	1
	未記入	0

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに日用品食材等の
買い物と回答した人

鶴嶺東地区

～特に大変と感じる外出について 2～ 【日用品・食材等の買い物】

《考察》

- 頻度は「月に1～2回」と「週に1回」「週に2～3回」「週に4回以上」が同程度あり、
頻回な外出となっている。
- 交通手段は「徒歩」、次いで「家族等が運転する車」があがっている。
- 大変な理由は通院とほぼ同様だが、地区内でも差はあるものの、ある程度スーパー等の店舗もあり、体がきついながらも自力で買い物などを行っている、また家族の助けを受けながら生活している人がいることが推察される。
- 地区ボランティアセンターでも配達をしてくれる店舗の情報を収集するなども行っており、買い物に外出をすることはできても、重い荷物などを持って帰ることは大変という高齢者のニーズがあることが伺える。

鶴嶺東地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

①出かける頻度 (計9)	1 週に4回以上	0
	2 週に2～3回	2
	3 週に1回	0
	4 月に1～2回	7
	5 その他	0
	未記入	0
	無効回答	0
②主な時間帯 (計9)	1 早朝(8時以前)	1
	2 午前中	4
	3 午後	4
	4 夕方(17時以降)	0
	未記入	0
	無効回答	0
③交通手段 (計11)	1 徒歩	3
	2 自転車	0
	3 バス (路線・えぼし号・予約乗合)	4
	4 施設・店舗の無料バス	0
	5 自分で運転する車	1
	6 家族等が運転する車	2
	7 タクシー	0
	8 福祉タクシー	0
	9 その他	1
	未記入	0

④大変な理由 (計20)	1 距離が遠い	2
	2 交通が不便	3
	3 体がきつい (足腰が痛い、目が見えにくいなど)	5
	4 交通費が負担	3
	5 歩くには道が悪い (階段や坂が多い、歩道が狭い等)	2
	6 一人では行かれないので 付添が必要	5
	7 その他	0
④で6を選んだ人 (計5)	未記入	0
	1 家族	4
	2 友人	0
	3 近所の人	0
	4 ヘルパー	1
	5 その他	0
未記入	0	

【単位＝人】

※問10～問12のまとめ。

問9-2で1位～3位のどこかに銀行・金融機関と回答した人

鶴嶺東地区

～特に大変と感じる外出について 3～ 【銀行・金融機関】

《考察》

- 頻度は「月に1～2回」が多く、ある程度まとめて用事を済ませていることが推察される。
- 交通手段は「徒歩」、「バス」があがっている。ATMが近隣で利用できるほか、駅まではやや距離があるものの、バスなどを利用すれば比較的短時間で出ることができる地域であるためかと思われる。
- 他の外出と同様、大変な理由としては「体がきつい」、「一人では行かないので付添が必要」があがっている。

鶴嶺東地区

《全体考察》

- 市域全体の結果と比べて概ね平均的な結果である。
- 福祉相談室からの聞き取りによれば、湘南東部総合病院や開業医が多く点在しているので受診はしやすいよう。また、コミュニティバスや病院のシャトルバスを利用する人もおり、外出についての相談はそれほど多くないとのこと。週1～2回程度外出をしている人については、他地区に比べて「徒歩」、「自転車」の割合が車よりも多いところからも上記の地域の特徴はうかがえる。
- 大変な外出先と良く出かける先について、共に1位が「通院・薬の受け取り」、2位が「買い物」というところから、要支援者の外出が必要に迫られた外出のみとなっていること、またこれについても大変さを感じていることが読み取れる。
- 古くからの農家等がある地域と、分譲住宅、近年は大型マンションが建設される地域があるなど、バラエティに富む地区である。地縁・血縁が密な地域と、比較的新しい世代や世帯構成の地域とが混在し、地区内での支え合いについても多様な形態であるといえる。
- 今回のデータには示されなかったが、ミニデイ・サロン活動が活発な地区であり、活動を支えているボランティアも多い。もともとは地区全体を対象とした大規模なサロンが月1回程度開催されていたが、より身近な地域での開催が大切との考え方から、自治会単位のサロンが複数立ち上がってきた経緯がある。こうした地域の福祉活動も外出先の選択肢の一つとなっていると思われ、引き続きミニデイ・サロン活動等への支援は重要であると考えます。
- いずれにせよ必要に迫られた外出にも困難さを感じているというデータは示されており、潜在ニーズ、また具体的な課題については更に掘り下げていく必要があると思われる。

